

# 伝習館



東京同窓會會報

第16号 2016.1.1



「洲」 池末 満・画

題字は母校伝習館に掲出してある創立者立花鑑賢公の書の扁額の文字を会長の江崎正直氏（高2回）が臨書したもの

特集「有明海の現状と将来」  
修学旅行生との交流会  
立花宗茂・田中吉政について  
高18回同期会 in 豊橋  
青春のパイプライン〈映画篇Ⅱ 後篇〉



表紙絵「洲」

高21 池末 満

独立美術協会会員。久留米市三潞町田川在住。「洲」は筑後川支流・広川の冬の情景が描かれている。ウラ表紙の裏の「映」も同様、池末氏の一連の作である。

本頁上「雛飾りと下げもん」

井上和彦さん宅のお雛さま。町野彰さん提供。共に高12回生。

# 第16号 2016.1.1

## 東京同窓会本部より

平成 28 年年頭のあいさつ	会長 江崎 正直	2
東京同窓会総会の開催告知		3
学年幹事会活動報告	高 21 白谷 政則	3
平成 27 年度修学旅行生交流会報告	高 51 大曲由起子	4
東京同窓会決算収支報告		6
賛助金ご協力状況報告		7
賛助金通信欄コメント		8

## 母校だより

伝習館高等学校館長着任挨拶		9
平成 27 年度進路状況		9
特別寄稿：有明海の現状と将来	高 35 木庭 慎治	10

## 先輩・後輩より

当主が語る立花宗茂の生涯	高 5 下河 秀行	13
安東省菴の「三忠伝」	中 56 成清 良孝	14
田中吉政について	高 5 下河 秀行	14
木村峯子（松峯）さんの受賞作品	高 6 木村峯子	15
二人だけの高尾山行き	高 12 小畑タエ子	16
高田町の新開能について	高 14 近藤 新一	17
杵屋勝国ハワイ公演に参加して	高 14 高木 節子	17
高 18 回同期会 in 豊橋	高 18 秦 正子	18
青春のパイプライン 映画篇Ⅱの後篇	高 18 福山 博彰	20
修学旅行生との交流会に参加して	高 51 大曲由起子	24

## 学年だより

高 5 「二九（ふく）の会」	高 5 下河 秀行	25
高 12 「くっぞこ会」	高 12 小野アケミ	26
高 14 「古稀同期会」	高 14 佐々木 優	26
高 20 「なんしよる会」	高 20・21 白谷 政則	27

## ふるさと瓦版

北原白秋生誕 130 年記念「白秋サミット」開催		28
大木町地域の話		29

## 書籍紹介

「檀一雄の柳川」		30
「ビクトル古賀物語」		30
編集後記		31
同窓会会則・幹事名簿		32

# 伝習館



# 東京同窓会会報

# 東京同窓会本部より

平成 28 年 年頭挨拶

伝習館東京同窓会  
会長 江崎正直

明けましておめでとうございます。

今年は二年に一回の総会の年で、来る 7 月 23 日（土）に開催する予定です。

総会に先立つ講演会は、思想家・実業家の中村天風先生（1876～1968）に係わるものです。中村家は柳川藩主立花家と遠縁に当たり、天風先生は多くの格言・名言を残されています。公益財団法人天風会・最高顧問の尾身幸次元財務大臣より「中村天風の生き方を学ぶ」なる演題で講演して頂きます。天風会は無宗教で「いのちの力」を発揮する「心身統一法」を普及するために、全国的な活動を展開しています。天風会には政治・経済・スポーツ各界の錚々たるメンバーの名前があります。貴重な講演を一人でも多くの皆さんが聴講されるよう希望します。

例年通り伝習館修学旅行交流会は、去る 9 月 14 日、リーガロイヤルホテル東京で盛大に挙行されました。今回も交流会を経験した若い卒業生諸君が多数参加してくれたので各組が盛り上がり、稔り多いものとなりました。

今年より旅の後半に東北研修旅行が組み込まれて、生徒たちは東日本大震災で大災害を受けた宮城県南三陸町を訪問しました。「百聞は一見に如かず」で、悲惨な実態を直に見聞した旅行生諸君が、多くの感銘を受けたそうです。

上記交流会は十年この方、毎年開催されています。交流会を体験した若手OBが積極的に協力してくれるようになったお蔭で、交流会が年々充実し活性化されてきました。若手OBの同窓会への参加が増加し、伝習館東京同窓会の会員減少に歯止めがかかるという余得が生じています。

この実情を福岡県東京事務所が知るところとなり、福岡県人会協力委員会に説明して欲しいとの要請がありました。これに応じて去る 11 月 28 日、東京八重洲の日本倶楽部において福山博彰学年幹事（第 18 回卒）が「若手対策について」の演題で、修学旅行生交流会の実情をわかり易く説明しました。福岡県下の県立高校 30 校の協力委員を中心に、総勢 70 名が出席して関係者の理解が深まったようです。

去る 10 月 11 日には故郷の柳川で伝習館同窓会総会があり、全国から 800 名に上る多数の会員が参加して盛大に挙行されました。総会に先立って女子マラソンのメダリスト・有森裕子氏から「よるこびを力に……」と題して講演がありました。

会報が年一回継続して発行されるように、会員皆さん方には賛助金の納入をお願い致します。今年もお元気で良い年になりますように。



# 今年と同窓会総会が開催されます！

## 伝習館東京同窓会総会のお知らせ！

伝習館東京同窓会の皆様、今年は2年に一度開催される伝習館東京同窓会総会の年です。300人近くの同窓生がホテルグランドパレスに会し、会場のダイヤモンドルームは柳川・伝習館一色に染まります。同郷の先輩にも会えるまたとない機会です。

最近の総会は若い人にも楽しんでもらえるよう、趣向が凝らされ、また郷土料理・地酒が振る舞われるなど楽しい会となっております。お仲間を誘いあわせの上（会員でなくても伝習館にゆかりのある人なら可）、気軽にご参加ください。会員の皆様には詳細を書いたご案内が届きます。どうぞよろしくお祈りします。

◆とき=平成28年7月23日（土）  
午前11時～午後2時30分（予定）

◆ところ=ホテルグランドパレス「2階ダイヤモンドルーム」  
千代田区飯田橋1-1-1（地下鉄九段下車）

◆会費 男性10,000円 女性9,000円 学生無料

### 講演会（午前11時～12時）

講師=尾身幸次（おみこうじ）

テーマ=中村天風の生き方を学ぶ ※中村天風の父は旧山川町（現みやま市）出身で柳川立花藩士

公益財団法人天風会最高顧問（前理事長）。

講師履歴 1932年、群馬県生まれ。1956年、一橋大学商学部卒業後、通商産業省に入省。1983年、衆議院議員当選、以来26年間衆議院議員。1995年、科学技術基本法制定の中心的な役割を果たす。1997年、経済企画庁長官として初入閣。2001年、沖縄及び北方対策担当・科学技術政策担当大臣として世界最高水準をめざす沖縄科学技術大学院大学の設立を提唱し、これを推進。またダボス会議の科学技術版といえる『科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム』（STSフォーラム）を2004年に創設し、現在その理事長を務める。2006年、財務大臣に就任。

20代に結核を患い、中村天風に師事し、「心身統一法」によって病を克服し人生を切り拓く。

著書に『天風哲学実践記』（PHP研究所）、『成功への実践』（日本経営合理化協会）など。

### お楽しみ抽選会

「御花」の1泊2食付き宿泊券、「ホテルグランドパレス」の食事券など多数用意。

「ふるさとの物産展」にはがね漬げや貝柱の粕漬げなど懐かしい郷里物産の売店も設けられています。

## 学年幹事会活動報告

高21 白谷政則

総会が無い年なので少しは暇かなあと  
思っていました。が東京同窓会には伝習館  
高校や福岡県人会、柳川市からいろいろ  
問い合わせや要望など舞い込んできま  
す。この一年の同窓会に関する行事を綴  
つてみます。（原稿メットの都合でH26・10  
～H27・9）

### H26・10 / 11 伝習館関係・同窓会

いつもは御花で開催されますが伝習館  
の体育館（講堂）が新築されたので講演  
会は伝習館、懇親会は御花でありまし  
た。毎年十月（ちょうど柳川のおにぎえ  
の頃）全国から700～1,000名位  
集まり、東京同窓会から江崎会長はじめ  
十名以上参加しています。御花の庭での  
懇親会は毎年たいへんな賑わいで、まる  
でちょっとした柳川の園遊会のようにで  
す。お酒の量が多く賑わい過ぎるので、  
どこからか園遊会はもつと品がいいとク  
レームがつくかな……。

### H26・11 / 22 編集委員会

いろんな方をお願い催促？して十月  
までに届いた原稿を正・副編集長のお二  
人で編集した下刷り（ほとんどそのまま  
冊子にしてもいいような立派なもの）を  
皆で検討し、最終的な編集作業を終える。  
誤字脱字のチェックは分担して各々持  
ち帰り一週間位で編集長へ連絡すること

とし、十二月初旬には印刷会社に送り印  
刷製本、発送され一月中には皆様のお手  
元に届けられます。私は今回初めて手伝  
いしましたが、今まではこの編集作業をほ  
ぼお一人でなさっていた。前編集長  
の小野様に改めて感謝いたします。

### H27・3 / 7 大学生の卒業祝い

総会や修学旅行生との交流会に参加し  
お手伝いしてくれた大学生の卒業祝い  
と、今後の同窓会への協力をお願いした。  
大学生4名、有志13名参加。

### H27・3 / 22 学年幹事会

・会報15号について（感想）  
・賛助金の入金状況  
・修学旅行生との交流会  
・前年の反省と今年度の受け入れ準備

### H27・8 / 2 学年幹事会

今まで利用していた駒込地域文化創造  
館が耐震工事のため使用できなくなり、  
近くの中華萬盛園で暑気払いを兼ねて開  
催。

・賛助金の入金状況  
・修学旅行生との交流会受け入れ確認  
・会報16号の編集進み具合  
・大同窓会（柳川）実行委員の紹介と案内

### H27・9 / 14 修学旅行生との交流会

別稿に詳しく掲載。  
高校生は大学生に、大学生は若い社会  
人、若い人は中堅の人にと数年～10年先  
の自分を想像しながら熱心に話を聞いて  
います。交流会とその後の懇親会は伝習

館卒業生の熱くて強い繋がりを感じます。

## 県人会関係

### 東京福岡県人会 同窓会協力委員会

福岡県の高校で東京に存在する同窓会67校のうち、小倉・東筑・八幡・戸畑・若松・鞍手・田川・修猷館・福岡・筑紫ヶ丘・糸島・明善・大川樟風・伝習館・三池 15校がメンバーです。年6回定例会議を開き次のことを行っています。

- ① 各同窓会へのアンケート 年1回会員数・総会（場所、出席者数、会費）年会費の有無・その他活動内容等
- ② 同窓会役員交流会 H.26.11/29 数校の活動内容（若手対策・会報・会費の問題等）を発表。各高校の役員や実行委員の方と懇談し、他校の良い点を参考にしながら各自の同窓会が発展するようにとの趣旨で開かれています。伝習館の会報5冊ほど持っています。大へんな評判であったという間に無くなり、これは立派だと感心しきりでした。今年度（H.27.11/28）は伝習館が活動内容を発表する番です。
- ③ 就職活動を応援する会 H.27.2/7

大学2・3年、大学院1年生を対象に20代30代のOB（8名各10分）から就職活動のアドバイス、就活経験など直接役立つ話を紹介。その後先輩方と懇談、交流しながら興味ある職種、職場に関して個別に質疑応答。もともと筑紫ヶ丘高校独自でやっていたが修猷館、福岡、小倉、東筑等に広がり今回伝習館も参加しました。中山皓人 明治大学法学部三年 ↓ 西部ガス（関東の東京ガスに相当）に就職決定。松野健一 法政大学経済学部二年 ↑ 以上参加者

### ④ 同窓会役員交流会 H.27.11/28

今年度は伝習館が若手対策として『修学旅行生との交流会』の事を発表しました。福山博彰氏（高18）が交流会の12年間の歩みをプロジェクトで写真などを交え映し出し、

- (1) 初めの数年間は会場の都合でクラス毎でなくOB対高校生の対面式であった。
- (2) その後クラス毎に分かれ文系・理系と進路別にして、より身近な交流会になった。
- (3) 今は高校時代に交流会を経験した人が大学生・社会人として参加するようになり、有意義な交流会になっていきます。と詳しく説明。

懇談会では多くの方から「同窓会で会場を確保しているのか」「高校との交渉はどうしているのか」などの質問を受け、他校も興味があるようでした。「歴史のある学校は違うなあ」などお褒めの言葉もかけられました。伝統に胡坐をかきことなく、常に時代に合わせながら継続することが大切だと改めて感じました。

### 柳川市関係

今年は珍しく柳川市から依頼がありました。八月お盆を過ぎた頃県人会を通して、柳川観光大使の夕べのメールがあり柳川観光PRの状況・柳川の観光に関する意見交換等一般の方でも参加できるとのこと。しばらくは放っていました。がやはり気になり九月初旬柳川市役所に問い合わせたところ、一般の参加が少なく困っているようでしたので東京同窓会の何人かに声をかけ五名で参加。

秋口に代々木公園で開催される観光物産展に柳川市も毎年参加して（私は

知りませんでした）それに合わせ初めて意見交換会を開いたそうです。東京同窓会の柳川観光大使は次の方々と、柳川の観光PRに頑張っていたらいておられます。

- 梶島正司様（高16 副会長）
  - 原田良康様（原田副会長のご主人）
  - 與田博利様（高1）
  - 下河秀行様（高5）
- 就任順

## 平成27年度 修学旅行生と卒業生との交流会について

### 高51 大曲由起子

秋の観光物産展については7月の東京同窓会の総会でお知らせできるようお願ひしています。

その他、みろく会（60年以上続く柳川出身者の親睦会）や立花財団（立花家の史料管理）の催し等、伝習館大好き・柳川大好きの私にとってうれしいお誘いがあります。もう少し先のばしになります。

本年（2015年）も、恒例の高校2年生の修学旅行生と卒業生（OB・OG）との交流会が、今年で12回を迎え開催されました。

日時：9月14日（月）19時～21時  
場所：リーガロイヤルホテル東京（宿泊先）

出席者：高校生約240人、先生方、並びに卒業生/OB 34人（うち大学生11人）  
今年も6組のクラスを、5～7人の、様々な年代の卒業生が担当し、進路、高校時代の勉強・経験、大学、仕事などについて高校生と懇談をしました。高校生の感想並びに参加した卒業生の感想をご紹介します。

▽読書をしてほしい。好きなことをやるのではなく、やることを好きになる。  
▽勉強は自分が楽しむために知識を広げるためのもの。

### 《生徒たちの感想》

▽とても役に立った。実体験を聞かせてもらったのが良かった。  
▽勉強することや一生懸命頑張ることの大切さが分かりました。

《印象に残った言葉・話》  
▽これからは夢を持った人物が強い。視野を広げる。人にとって時間だけは平等。▽挑戦すること。最後までやりきる。

### 《修学旅行生より》

#### 《印象に残った言葉・話》

▽これからは夢を持った人物が強い。視野を広げる。人にとって時間だけは平等。▽挑戦すること。最後までやりきる。

▽これからコミュニケーション能力や、表現力・発言力を身につけていきたい。

▽「一緒にいる時間が長くなると慣れが出てきて大切なものを見落としてしまう」という言葉はなるほどと思い、心がけていきたいです。  
▽高校と大学の違いやアルバイトの話など色々聞けてためになりました。  
▽自分の意見を他者に伝えることの大切さを学びました。もともと積極的に行動すべきだと思いました。

▽同窓会の方々が伝習館に誇りを持っておられることが強く感じられた。  
▽人生の先輩である方々の言葉は、これからの自分の人生の大きな手助けになると思いました。

▽先輩方がすごく輝いて見えました。今もっている将来の夢が叶ったらそれで終わりのように思っていました。いつでも道を変えていいという言葉に心が軽くなりました。

▽先輩方の話はとても説得力があります。とてもいい経験です。その時のメモ用紙は今でも勉強機のシートの下に挟んでいます。

▽これからの人生で必要なことを学べたり、物事をうまく進めるためのヒントが得られてとてもためになりました。今後の自分の人生につなげていこうと思います。

▽できるだけ具体的な目標を持つことが大切だと思った。また、色んな職業があるので自分の視野をもっと広げるべきだと思いました。

▽自分も発言するのが苦手なので言いたいことが言葉にできる大人になりたいと思いました。

▽私が一番印象に残ったのは、皆さんがたくさん本を読まれていることで、今後は本をいっぱい読んで、人の考え方や生き方、知識等を学び、得たいと思います。

▽将来に不安がありますが、社会に出て良かったこと、ためになったこと、そして結局は何事も自分次第でやりたいと思えばなんだってできるということ学びました。

▽大学は自分の好きなことを好きなだけやれるけど、自己管理はしっかりなくてはいけないこと。今は選択の幅を広げるために色々な勉強をしておいた方がいいということなども有意義な時間でした。

▽先輩方の話を聞いて自分の進路について改めて深く考えることが出来ました。

▽何事にも失敗を恐れずにチャレンジ精神を持って挑戦することの大切さを改めて感じました。将来やりたいと少しでも思ったことは何でも挑戦してみようと思いました。

▽東京で働くということに興味湧いて将来への視野が広がりました。

### 〈卒業生の感想〉

1. 【37回生 石川美佐、石橋泰光、桑山薫】

(生徒の印象)

・自分たちの高校時代と比べ、お利口さんという印象。

・良くも悪くもおとなしい。特に男子がおとなしい。

・発言者をきちんと見る、頷くなどの聞く姿勢はしっかりしていた。

・最近では地元志向が強いと聞いていたが、関東圏への進学希望者がクラスあたり数名なのに驚いた。

・緊張や旅の疲れの影響もあったと思うが、元気がないというか若々しさが感じられなかった。

・東京の高校生と違って、良い具合に日焼けをしている健康的な子が多かった。

### (交流会の感想)

・質問があまり出ないため、事前にクラス毎に質問リスト等を準備していれば、もっと盛り上がるのでは? と感じた。

2. 【62回生 古賀康孝】

私が修学旅行で交流会に参加したことを思い出しました。当時の私は、全く知らない東京の話を先輩方から聞き、東京に行きたいと胸を躍らせていました。

あれから4年が経ち、今度は私が現役生に話をする立場になっていました。どのような話をするのが現役生にとってためになるのか、を考えながら話をさせていただきました。

交流会には毎年参加させていただいていますが、私のグループの今年の現役生

は非常におとなしい印象を受けました。

しかしながら、現役生は自分の将来や就職についてどうすれば良いのかを深く考えている生徒で、聞いている私は感心しました。また、一番驚いたのが、「伝習生としての誇り」を持ち、日々勉強だけでなく、部活動にも力を注いでいることを知ったことで、先輩として誇らしかったです。

私自身、来年4月から新社会人として新たなスタートを切ります。この交流会に参加して、現役生や偉大な先輩方の話を聞き、私は、人生で何を成し遂げたのか、どのような人になつていきたいのかを、改めて初心に返り、考える機会を得ることができました。

来年からも、できる限り、交流会には参加していきたいと思えます。

3. 【63回生 松岡五十鈴】

大学1年時から毎年参加させていただいていますが、母校の高校生との交流会はいつも楽しみにしています。

キビキビと動く現役生の姿を拝見し、伝習生の放つオーラに圧倒されながらも、とても懐かしい思いがしました。

現役生からの質問で印象深いのは、「日頃、先生方に『伝習生としての誇りを持って』と言われるが先輩方は現役役のとき『伝習生としての誇り』を理解できていたか」というものです。

諸先輩方もおっしゃっていましたが、伝習生としての誇りは伝習館を卒業してから強く感じるものであると思えました。そしてまさに、伝習館の東京同窓会





での先輩方との交流がこの事を実感する瞬間です。素敵な先輩方、後輩との強いつながりに改めて伝習生としての誇りを感じました。

貴重な出会い、お時間を頂き大変感謝しております。来年は、社会人としてこの場に参加できることを楽しみにしております。

#### 4. 【63回生 佐藤公治】

今回、私は初めての出席となりましたが、同輩だけでなく後輩、多数の先輩に会えて色々と実りのある話を聞けました。自分の経験を大勢の前で共有するという機会はあまり多くないので、緊張しましたが、とても楽しく、自分を高める良い機会にもなりました。

懇親会ではつい話が白熱して多くの人

と話すことができなかつたので、次回は多くの人の話を聞きたいと考えています。

このような交流会を定期的に開いている伝習館に誇りを改めて感じました。次回また、会えることを楽しみにしています。

(交流会記事まとめ.. 51回生 大曲由起子)

※ 51回生 大曲由起子さん自身の感想は、「先輩・後輩より」のコラムに掲載していますので併せて是非お読みください。

### 交流会OB参加者(敬称略)

61	※ 61	56	51	51	40	37	37	37	35	32	32	27	21	21	20		18	16	14	13	3	高校2	中学55	
関 翔子	植木 智	藤木 将	本村泰輝	大曲由起子	石橋美和	桑山 薫	石橋泰光	石川美佐	池上英次	守谷由佳	境 和晃	高橋圭介	白谷政則	北島正常	高巢和登	りまとめ)	流会運営と	福山博彰(交)	椏島正司	高木節子	原田万紗子	酒井清行	江崎正直	江崎和夫
													合計34名	※ 66	※ 64	※ 63	※ 63	※ 63	※ 63	※ 62	※ 62	※ 62	※ 61	
												(内・※印 大学生11名)	境 佑梨	松永 陸	山本麻衣	松岡五十鈴	中山皓人	高村 薫	佐藤公治	中村知永	古賀康孝	生田正史	平田信也	

平成27年1月1日～平成27年11月30日

単位：円

科目	金額	科目	金額
<b>収入の部</b>		<b>支出の部</b>	
賛助金(郵便局)	1,145,000	会報制作費一式(含発送費用)	959,655
賛助金(銀行)	5,000	資料、メール便発送費	1,540
普通預金利息		会議室使用料(駒込地域創造館)5回	2,300
		会議(学年幹事会)雑費	3,904
		会議資料コピー代	3,090
		修学旅行交流会参加大学生交通費	11,000
		修学旅行交流会参加者懇親会補助	25,400
		福岡県人会就活を応援する会費	13,000
		伝習館総会広告費	40,000
		編集委員会預け金	20,000
		郵便振込手数料	24,650
		印字サービス手数料	1,952
当期収入	1,150,000	当期支出	1,106,491
前期繰越金	3,267,455	次期繰越金	3,310,964
<b>計</b>	<b>4,417,455</b>	<b>計</b>	<b>4,417,455</b>

### 伝習館東京同窓会決算報告書



# 【賛助金ご協力状況報告】

(平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 11 月 30 日)

年初早く発刊したため 11 月末日が切と変更しました。

卒回	氏名
高8	川崎悦子
高8	後藤享
高8	市川玲子
高9	木村博子
高10	古賀雄二郎
高10	江口武
高10	大島喜代子
高10	大村平人
高10	高島早苗
高11	秋永栄子
高11	鶴精三
高11	山浦素明
高11	原尻満子
高11	石橋秀男
高11	與田広巳
高11	佐藤輝代子
高11	久賀朝文
高11	田北昌久
高11	城島孝雄
高12	甲木宏明
高12	田中治子
高12	馬場敦子
高13	田中利道
高13	池末洋彦
高14	甲斐昌彦
高14	今泉京子
高15	後藤民子
高16	高椋正民
高16	黒田タエ子
高17	藤木清勝
高17	中島功彦
高17	龍敏彦
高17	宇木博巳
高18	吉田シヅカ
高18	中川紀代子
高18	古賀行夫
高18	井上頼子
高18	井口文章
高18	三沢百合子
高19	白谷房子
高20	諸藤由美子
高20	近藤敬介
高20	海東信子
高20	井口ちづ子
高21	蓮尾秀子
高21	石立曜生
高21	千代島道生
高23	武藤由樹子
高23	武藤友次
高24	田中知子
高51	大曲由紀子
高51	大曲由紀子
協賛 0.5 口	
高22	田島栄子
高23	下田真知子

(1 口 2,000 円)

卒回	氏名
高7	永江嵩子
高8	大村泰生
高8	池田孝人
高10	川口圭之
高11	龍勝
高12	尾田常昭
高12	横山正和
高12	滝口晴夫
高13	澤田恵美子
高13	山田孝輝
高14	鷹岡富士雄
高14	松尾健次郎
高15	一木克子
高17	下吹越智佳子
高19	正岡喜則
高21	酒井友実
高23	樋口貴美子
協賛 1 口	
中50	田辺一彦
中54	吉弘尚正
中56	高田信義
女40	山田チテ
女42	富重信子
女42	山口トヨ
高1	熊本亘
高2	徳安朔子
高2	石橋慶孝
高2	田中豊子
高2	北原大薫
高3	菌田麗子
高3	白井ヒロエ
高3	田井順次
高3	村井順次
高4	高須信治
高4	山本瞳
高4	花島啓之
高4	石橋安男
高4	福山恭輔
高5	宮川政實
高5	武田八重子
高5	原タカ子
高5	岸洋子
高5	高橋絹子
高5	野口幹彦
高6	石橋修
高6	中村充
高6	森清旨
高6	池田勝嗣
高6	本間洋子
高7	中村奨
高7	大坪幸
高8	中村清美
高8	樋口誠佑
高8	甲斐田義春
高8	森健
高8	高石順子
高8	津留京子

卒回	氏名
高3	酒井清行
高4	荒井健之輔
高5	江口政司
高5	中村義行
高5	中村裕彦
高5	津村寿人
高5	中村千常
高8	豊島黎子
高8	遠藤武雄
高8	入部一朗
高8	與田武久
高8	川口融
高8	内田由美子
高10	松藤俊正
高10	永倉素子
高11	樋口守
高11	岡辰彦
高12	小野アケミ
高13	尾田義昭
高13	原田万紗子
高14	高木節子
高16	金子修
高18	十時理展
高18	大津博
高18	秦正子
高18	松藤由朗
高20	岡賢二
高20	花島豊子
高20	横山光治
高20	相見るり子
高20	高巢和登
高21	中島和彦
高22	竜美代子
高22	松岡正治
高23	竹内幸代
高24	河島久美子
高26	野口佳延
高27	高橋圭介
高28	吉開孝人
高31	平田洋
高32	合原嘉男
高36	佐藤康成
協賛 2 口	
中55	武藤徳一
高8	永倉正彦
高8	石貫タツ子
高11	吉川照子
高34	真鍋和裕
協賛 1.5 口	
高3	松崎美年子
高3	柳澤一彦
高3	西山彰
高5	家入智恵子
高5	岡一之
高5	安藤祥介
高5	松尾久子
高7	中澤貞夫

卒回	氏名
協賛 50 口	
女48	堤薫
協賛 25 口	
高2	江崎正直
高16	藤吉憲生
高24	大曲雄二
協賛 10 口	
高19	野口昇
協賛 9 口	
高21	石川俊
協賛 5 口	
中55	高巢和夫
高2	小野善睦
高2	松尾哲夫
高2	河野健一郎
高4	新谷弘実
高4	渡邊喜亮
高5	原田和幸
高5	岸栄洋
高5	田中禮二
高6	戸上軍治
高6	木村峯子
高7	中村奨佑
高9	津留昇
高9	廣松洋一
高10	古賀明美
高10	内山秀生
高12	村上國子
高12	田上省三
高16	三小田雅美
高16	花島正司
高17	三池孝道
高18	満生英二
高18	福山博彰
高20	東寛治
高20	安永保
高21	白谷政則
高21	西原正道
高24	酒見和平
高28	松藤善生
高32	濱武久司
協賛 3 口	
高6	中尾久代
高9	松島和子
高16	沓掛純二郎
高21	北島正常
高29	古賀宣明
協賛 2.5 口	
無記名	
不詳	酒見縫子
中56	松本一郎
中56	永井俊一
中56	成清良孝
中56	松本学
女41	渋谷敏子
女42	遠藤美代子
高1	高石満之

## 伝習館東京同窓会 賛助金通信欄コメント

ます。北の住人の宿命かも？

高2 江崎正直  
事務局お世話様です。

敬称略

高17 藤木清勝  
昨年6月転居。東京同窓会を退会します。お世話になりました。

高18 吉田シヅカ  
両親も親しかったおさななじみも他界し、故郷も遠くなり、忘れかけていた想いが会報で思い出されます。いつも有難うございます。

高15 一木克子  
いつも楽しみにしています。柳川のことも知らせて頂き懐かしくしています。

高6 中村 充  
会報15号を1月25日いただきました。今年はず雪が多く、冬將軍が来たプレゼントと前向きにとらえていたが、一日中排雪した日が新年になり7日もあり、疲れた。

高7 中澤貞夫  
前編集長小野善睦さんへ…10年超の編集に携わり本当にご苦労様でした。これからも元気で過ごし下さい。

高6 戸上軍治  
会報誌有難うございました。小野編集長退任の記事を拝読し創刊号から第14号までの12年間に及ぶ心のこもった編集の責任者として会報誌の基礎を築いて戴いた功績に感謝申し上げます。ありがとうございます。

高5 岸 栄洋  
5回生幹事に古賀弘君がえられましたのでよろしく願います。(松永君の後任として)

高9 木村博子  
東京同窓会会報第15号有難うございました。賛助金をお送りいたします。

高18 十時理展  
伝習館OBの多才さに感心させられます。毎年正月の会報、楽しみです。

高20 近藤敬介  
伝習館東京同窓会の益々の発展を祈念します。

高12 尾田常昭  
伝習館野球部の甲子園出場を夢んでいます。

高22 田島栄子  
「時は金なり」で、年を重ねる度に一日を大切にしたいと思います。

高6 森 清旨  
前略 江崎会長初め役員各位には公私にご多用のところ母校同窓会運営にご尽力頂き感謝いたします。

高13 田中利道  
編集委員新体制による「15号」楽しく読ませていただきました。伝統を受け継ぎつつ新風を吹き込むよう益々のご尽力をお願い致します。

高8 入部一郎  
今年は大雪の当たり年？ 除雪に苦労しております。

高女42 富重信子  
お世話になりました。元気でいます。

高女42 遠藤美代子  
柳川の水の町、柳がゆれドコ舟と学校の思い出が頭によぎります。私も高齢となり、これにて失礼します。皆様の益々のご発展を祈ります。

高5 中村義行  
東京同窓会の益々のご発展と会員皆様のみますまのご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。

高21 白谷政則  
伝習館と言うだけで柳川を思い出させてくれ、元気になります。家族は「伝習館が本当に好きなのね」と呆れています。

中55 高巢和夫  
妻愛子(女47)は平成18年6月死亡いたしましたので今後は夫・和夫が代行致しますので宜しく。夫和夫は…終戦により昭和20年旧中に編入…中学55回生として卒業しました。今後は私が引き受けますのでよろしく。

女42 山口トヨ  
28年は九十才になり、体力も衰えて来ましたが今年で失礼させて頂きます。

高3 西山 彰  
「東京同窓会会報第15号」送付いただき有難うございました。

高14 鷹尾富士雄  
トンボの写真懐かしく観ました。ヤンマつりを思い出します。今はやらないでしょうね。

高20 相見り子  
遅くなり申し訳ありません。よろしく願っています。

高18 松藤由朗  
会報有難うございます。4月亡父母の法事で柳川に帰省します。柳川の雰囲気を味わって来ます。

高21 千代島道生  
会報を読んでいると、伝習館との絆をいつも感じています。改めて、伝習館卒であることを誇りに思っています。伝習館万歳！

高13 山田孝輝  
いつも楽しく読ませて頂いております。お世話は大変だろうとご推察致します。

高4 福山恭輔  
毎回拝読するのを楽しみにしております。

高23 下田真知子  
いつも有難うございます。楽しく読ませていただいております。少しですが…

高24 大曲雄二  
無事定年になりました。

高6 中尾久代  
いつも遅れてすみません。振込用紙が3枚出て来ましたのでまとめさせて頂きます。

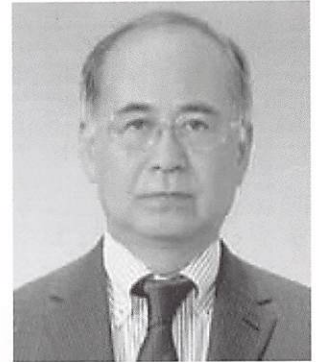
中56 松本 学  
いつもお世話頂き有難うございます。

高3 酒井清行  
一筆啓上/平和憲法殿 これまでの70年有難う。安保法成立で小枝はもがれ折れそうになったが、1000年のご神木となるまで末永く生き残り、人々を護って下さい。ともに助け合おう。これからもよろしく。27. 10. 9 早々

高16 杏掛純二郎  
同窓会へは学生時代に2回程出席しただけで、その後はご無沙汰しております。2016年5月3日に北原白秋の詞に作曲した3曲を越谷で発表します。会報いつも楽しみにしています。

## 伝習館高等学校館長着任挨拶

館長 久保 政則



東京同窓会の皆様におかれましては、益々御健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より母校の教育の充実・発展と在校生諸君への激励のために、特段の御支援と御協力を賜っておりますことに、衷心より篤く御礼申し上げます。

私は、御退職なさいました堀秀行前館長の後任として、平成27年4月、福岡県教育センターより、第40代館長として着任いたしました、久保政則と申します。どうぞ、よろしく願います。

私事ですが、4月から自宅のある小郡市から西鉄大牟田線で通勤しております。柳川駅から伝習館までの途中、三柱神社の参道へ通じる朱塗りの欄干橋を渡り、銅の鳥居をくぐり抜け、左に折れ、県道に沿った一つ北の昔の面影の色濃く残る路地を歩きますと、旭町の浄華寺内に安東省菴先生の墓「三忠苑」があります。柳河藩と柳川の町に育まれてきた伝習館の長い歴史と伝統に身をもって接し、改めて、身の引き締まる思いです。

2年生は9月14日から4泊5日の修学旅行を実施しました。前半は東京研修で、進路学習の一環として、生徒自らが希望する大学及び企業の訪問を実施しました。また、東京同窓会の先輩の皆様のお世話で、在校生と同窓生との交流会を開催していただき、今後の進路等についての貴重な御指導・御助言をいただきました。月曜の夜7時から9時までの2時間、36名もの皆様に出席していただきました。江崎会長自ら、全体会のみならず、分科会にも御出席いただきました。改めまして御礼申し上げます。後半は、今年度より新たに東北研修を計画しました。避難場所提供等に尽力された南三陸町のホテル観洋に宿泊し、東日本大震災の体験談を伺い、海岸清掃や農園再生等のボランティア活動も行いました。海岸清掃では、バイクのナンバープレートが出てきました。後日伺ったところ、御遺族に返還されるとの事でした。なお、当初瓦礫と呼んでいたものの、被災された方々の思いを尊重して、現在では「被災物」と呼んでいる事もお伺いしました。防災対策庁舎をはじめ震災及び復興の状況や問題点を肌で感じた意義深い研修となりました。研修終了後にホテルで実施した報告会では、涙を流しながら発表する生徒もいました。前半の進路学習と後半の震災学習を有機的に関連づけて、今後の進路に生かしてくれることを期待したいと思っております。

最後になりましたが、東京同窓会の今後ますますの御発展と会員の皆様の御健勝を祈念申し上げますとともに、今後とも母校伝習館への御支援と御協力の程、よろしく御願ひ申し上げます。

### 平成27年3月進路実績 ( )内の数字は合格者人数

<b>国公立大学合格者 127名</b>			
京 都 大 (1)	名 古 屋 大 (1)	神 戸 大 (2)	九 州 大 (13)
埼 王 大 (1)	島 根 大 (1)	岡 山 大 (1)	広 島 大 (6)
九 州 工 業 大 (4)	福 岡 教 育 大 (7)	佐 賀 大 (35)	(医学科1名)
長 崎 大 (9)	熊 本 大 (14)	大 分 大 (3)	宮 崎 大 (2)
鹿 児 島 大 (5)	琉 球 大 (1)	首 都 大 東 京 (1)	神 戸 市 外 国 語 大 (1)
兵 庫 県 立 大 (2)	高 知 県 立 大 (1)	北 九 州 市 立 大 (6)	福 岡 女 子 大 (4)
長 崎 県 立 大 (3)	熊 本 県 立 大 (2)		な だ

<b>私立大学合格者 578名</b>			
早 稲 田 大 (4)	慶 応 義 塾 大 (1)	明 治 大 (6)	青 山 学 院 大 (1)
中 央 大 (2)	東 京 理 科 大 (6)	芝 浦 工 業 大 (4)	法 政 大 (1)
同 志 社 大 (12)	立 命 館 大 (58)	関 西 大 (6)	関 西 学 院 大 (1)
兵 庫 医 大 (1)	西 南 学 院 大 (92)	福 岡 大 (177)	(医学科2名) な だ

<b>準大学校合格者 9名</b>	
防衛大学校 (4) (1次合格者50名)	水産大学校 (1)
防衛医科大学校医学教育部看護学科 (4) (1次合格者8名)	

<b>公務員合格者 5名</b>		
佐賀県職員 (1)	久留米広域消防本部吏員 (1)	みやま市職員 (1)
一般曹候補生 (1)	自衛官候補生 (1)	

「志鍛挑和」の精神ここにあり

進路指導主事 高標茂樹

「志を高く立て 自らを厳しく鍛え 失敗を恐れず挑み 品位を重んじ周りと和す 自分と学校に誇りをもつ生徒たれ」

伝習館高校には、このようなスクールライフイデntyテイ（校風）があり、「志鍛挑和」と言われています。特に、「志を高く立て 自らを厳しく鍛え 失敗を恐れず挑み」という箇所がありますが、今年の卒業生もその「志鍛挑和」の精神を受け継ぎ、進学において素晴らしい成果をあげています。生徒一人ひとりが高い目標を掲げ、学習と部活動を両立させ、難関校に果敢に挑戦する。この伝習館の伝統は脈々と受け継がれていくものです。

今春の大学入試では、京都大学1名、名古屋大学1名、神戸大学2名、九州大学13名をはじめ、早稲田大学、慶応義塾大学など、全国の国公立や有名私立大学に多数の合格者を出しています。これも同窓生の皆様が社会人講演会や東京修学旅行での交流会などの機会を通じて、生徒に大きな夢と高い志を持たせてくださったおかげであり、この場を借りて御礼申し上げます。今後とも、同窓会の皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

（本年度の主要大学の合格者数は左記のとおりです。）

## 有明海の現状と将来

福岡県立伝習館高校教諭

高35 木庭慎治こばしんじ

## 有明海の特異な環境

「筑紫よ、かく呼ばへば 戀ほしよ潮の落差、火照沁む夕日の湯」。北原白秋の歸去来の一節からも大きな干満差によってもたらされた広大な干潟が柳川の海の景観を特徴付けていることがわかります。実は、この干満差は大潮の時には6mにもなり、韓国西部海岸に次ぐ大きさなのです。有明海の水深が湾奥部で極めて浅いことも広大な干潟が出現する要因になっています。

有明海は、面積1700平方kmで東京湾の1400平方kmより広いのですが、湾口幅が4・5kmと東京湾の21kmから比べ極端に狭いことで、有明海は極めて閉鎖性が強い内湾であるといえます。さらに、有明海に流れ込む筑後川などの河川の流域面積は阿蘇から北部九州におよび8420平方kmもあります。このことで、たくさんの河川水が流れ込み、そのことからもたらされる豊富な栄養塩類と外洋の3分の1しかない塩分濃度の影響が有明海をさらに特殊な環境にしています。よく海にいくと「磯の香り」がほとんどありません。まさに有明海は「汽水の海」と呼ばれるべきものでしょう。磯の香りがしないことは、有明海ではコンブやワカメがほとんど生育しないことにも関係

があるのかもしれない。

有明海の生物相を特徴付けるムソゴロウ、エツ、ワラスボ、ハゼクチ、アゲマキ、ウミタケ、ハイガイ、ミドリシヤミセンガイ（メカジヤ）、シチメンソウなどは、大陸系遺存種と呼ばれ、これらの生物は1万年前まで大陸と日本が陸続きだったことを物語っています。そしてこれらの生物たちが有明海で近年まで生きていたのです。ですから、絶滅の危機に瀕した有明海特産種生物たちの近縁種が韓国の西海岸の広大な干潟に保存されています。有明海が大陸と分離してから約1万年、このような特殊な環境で有明海の生物は進化してきました。その結果、有明海は固有種や特産種の宝庫と呼ばれるようになったことを考えるとこの特殊な環境は生物相にも大きな影響を及ぼしていることとなります。このことは、有明海の生物資源に頼った漁業にも影響を与え、有明海沿岸の独特の漁法と文化を醸し出しました。

## 有明海変異

豊富な有明海の水産資源は終戦時多くの引揚者の胃袋と経済基盤を支えたという記録が残されています。農業は土作りと耕作が必要であることは言うまでもありませんが、漁具は、当時有明海に豊富にいたので獲ったら直ぐに胃袋に入れることができるからです。ところが、戦後の冷蔵技術と漁法の進歩によって、特に昭和40年代のFRP船の発明と大出力エンジンによって満潮時にしか出港できないという漁港の立地条件（有明海湾奥部

では有明海に流れ込む河川の河口から干潮域に漁港を設置しています）でも遠くの魚場に行くことができようになりました。さらに、海苔網も時を同じくして発明され冷凍網の技術もこの頃確立しました。このように漁法の発展によって見かけ上有明海の漁獲量は増加しましたが、この頃から有明海変異の兆しが見えてきました。戦後の植林、漁法の進歩、ノリ網の発明、三池炭鉱の閉山、圃場整備と堰の建設ラッシュ、これらのことが昭和40年代に一齐に起こっています。人間は自然に寄り添って自然と共に生きることが普通のことだと考えていますが、この普通のことができなかった時代だと思っています。傲慢にも自分に都合良く自然を造りかえてしまったのです。

## 森里海連環くつなりの再構築

今では有明海の特産種や準特産種の多くの生物たちが絶滅、または極端に数を減らしています。特に底生の生物に影響が大きく、アゲマキ、ウミタケ、オオシヤミセンガイ、アサリ、タイラギは今では非常に珍しくなり、めったに見かけることはできなくなりました。今でも、何が原因であるのかよく分かっていますが、人間はどうも、海は海、川は川、陸は陸というように、川や海の境界部分、海と陸の境界部分、つまり、緩衝地帯を全く考慮に入れていないことに原因があるのかもしれない

せん。つまり、現在のようには海、川、陸、水路、田んぼの境界をコンクリートで囲ってしまい、それぞれの機能だけを優先した設計が良くないのだと考えています。弱い生き物や仔稚魚または、幼生のうちは、境界地帯で育つ生き物が多いようです。したがって、境界領域が豊かであればあるほど多様な生物を育む環境が維持できるのではないのでしょうか。これらの境界領域のデザインをもう一度考え直す必要があると考えています。このアイデアは、京都大学の名誉教授田中克先生が提唱された「森里海連環学」たなかきさるで述べられています。田中克先生は稚魚の研



究を35年以上有明海をフィールドとして行っているらしいです。その内容を一部紹介します。多くの有明海の特産種の稚魚たちの胃内容は単一種のカイアシ類より構成されており、このカイアシ類は有明海の濁りの原因であるデトリタスを食べていることを先生は発見されました。デトリタスとは植物などを分解者が食べたときに生じる食べ残しの有機懸濁物のことで、このデトリタスから始まる食物連鎖を腐食連鎖といいます。また、デトリタスは阿蘇山や九重山からもたらされる微細な鉱物の周りに有機物がくっついたものですので、阿蘇・九重山の恵みが有明海の特産魚類を育んだと言いうことができると思います。つまり、豊富な有明海の水産資源は山からもたらされる恵みと、それを山から海まで運ぶ川が正に機能することで為しえたものであるという「森里海連環学」の基本的な考え方です。仔稚魚たちの孵化した場所は様々ですが、多くの特産種の魚は仔稚魚時代のある時期に筑後川などの汽水域で成長します。したがって、海を理解しようとして海だけ研究してもダメで、山から川、そこに関わる全てのものつながりを理解しなければ分らないということになります。特産種のエツはほぼ一生、濁りのある汽水域でカイアシ類を食べて成長しているのです。有明海の濁りの重要性が理解できます。

一方、コンブやワカメが育たない汽水の海、有明海の一次生産者はケイ藻類です。ケイ藻類は光合成を行う立派な生産者なのです。ケイ藻類は有明海では植物

と同じ役割を担っています。つまり、多くの動物たちの食料、つまり栄養をまかなってくれているのです。ケイ藻はケイ酸塩の殻を持った単細胞生物で、栄養塩類を消費して増殖します。栄養塩類とはN・P・Kのことで、植物の生育に必要なことから化学肥料の主原料になっています。自然界では、栄養塩類は枯れ葉や動物の排泄物や死骸などの有機物を分解者が分解して作ります。ここにも森の恵みが海を育んでいるという森里海連環の構図が見てとれます。ケイ藻類にも大きく分けて付着性ケイ藻と浮遊性ケイ藻がありますが、赤潮は増えすぎた浮遊性ケイソウ類が原因です。有明海の付着性ケイソウ類は多様で、まだ未記載の種類もあると思います。また、生物量も膨大です。良く晴れた日に干潟に行くと褐色をした干潟表面を見ることができ、ケイ藻類は褐色のクロロフィルCを持っていきますので、干潟が褐色に見えるほどケイ藻類の生物量が多いのです。この膨大なケイ藻の光合成で作られた有機物が最盛期の漁獲高9万トンと言われる有明海のアサリのエサになっています。有明海の貝類が激減した今でもケイ藻類は豊富にいますので、これらケイ藻類の死骸も底質に堆積し、有明海の海底汚染の原因になっているかもしれない。

### ノリ養殖と有明海二枚貝の復活を

現在、有明海の水産業で唯一潤っているのはノリ養殖です。しかし、ノリも植物ですから、成長するために栄養塩類

が必要で、栄養塩類が不足するとノリの色落ちという黒っぽいはずのノリが白っぽくなる現象が起こります。したがって、ノリ養殖に必要な栄養塩類も森の恵みでまかなわれているのです。

かつては赤潮の起こらない有明海と言われていましたが、近年、赤潮が湾奥部でも冬に起こるようになってきました。冬になると湾奥部では、たくさんノリ網が所狭しと並べられています。ノリの養殖にとって赤潮は大問題ですから浮遊性ケイ藻のモニタリングは行われていますが、赤潮の発生メカニズムがよく分かっていません。しかし、アサリなどの二枚貝が旺盛な食欲でケイソウ類を食べることを利用してかつての赤潮が起こらない有明海という伝説を現代によみがえらせることができると考えています。私は二枚貝が有明海で育つような底質環境になるとすべての問題が解決するのではないかと考えています。

### 有明海の再生に託して

最新の研究では、フルボ酸鉄が有機物を分解してくれる細菌類たちの活動を活発にすることが少しずつ分かっています。



した。実験段階ではありますが、フルボ酸鉄を主成分とした材料を用いて各地で漁場改良実験が実施されています。現時点でヘドロ化した底質を減少させるために細菌による分解という自然が本来もっている仕組みを利用することが賢明だと考えていますので、細菌の働きを活性化することができるといふフルボ酸鉄の効果に期待しています。有明海が疲弊した本当の原因はまだ分かっています。フルボ酸鉄による干潟泥質改良は根

治療法ではありませんが、現在の有明海の急速な底質環境の悪化を考えると対処療法でも仕方がないのかという感じがします。ところで、なぜフルボ酸鉄を加えてやらなければ自然が本来もっている分解者のはたらきが發揮できないのかという疑問が生じます。この答えを、「広葉樹を作る豊かな腐葉土が失われてきたことで河川に流れ込む有機酸と鉄分が減少したことが原因である」と考える人がいます。「森は海の恋人」運動で有名な畠山重篤さんです。畠山さんは気仙沼でカキを養殖する牡蠣漁師ですが、気仙沼の海が荒れた原因を増えすぎたスギ・ヒノキの植林であると考え、20年以上前から気仙沼湾を育む上流の山地に広葉樹の植樹を行い、豊かな海を取り戻すことに成功しています。畠山さんの活動は国内外に高く評価され、小中学校、高等学校（東京書籍 PROMINENCE Communication English ①）の教科書にも取り上げられました。畠山さんの活動で特筆すべきことは、「森は海の恋人」運動によって漁業の概念を変化させたことと、たくさんの人を巻き込み社会運動に発展させムーブメントを作ったことだと思います。言葉を変えると森里海連環の構図の定着を社会の中で実践し、たくさんの人々の意識を変えたことだと考えています。著書は「漁師が山に木を植える理由」（松永勝彦共著 成星出版 1999）など多数で、平易な文章で書かれています。畠山

さんは、2012年、国連のフォレスト・ヒーローズ（森の英雄）アジア代表に選ばれています。

戦後、北部九州では大部分の自然林がスギ・ヒノキ植林に変わってしまいました。この大規模な植林によって厚い広葉樹の葉が堆積した腐葉土が減少したこと原因があるのかもしれませんが、今後、フルボ酸鉄や溶存態鉄などの研究が蓄積すれば、解決策が見い出される可能性があります。

有明海で平成21年に13年間ほとんど漁獲をされていなかったタイラギが大豊漁であったり、今でも絶滅危惧種のハイガイやミドリシヤミセンガイ、アサリなどの稚貝を柳川の海で見かけることが希にあります。また、意外にも生き物たちは自分たちが生き残るすべを知っていて、たくましく生きていくという報告もあります。ですから、環境さえ整えてやると有明海特産種の生きものたちは、この海で育つのではないかと考えています。有明海はまだ死んだわけではないのです。だけれど瀕死の状態に代わりはありません。多くの人にこの事実を知っていただき多くの人が有明海の再生に向けていただくことが、有明海と人間を繋ぎとめる唯一の方法であると考えています。山や川などの自然に、人々の関心が向けられなくなつたときに自然が荒廃したという例をたくさん見てきたからです。利用できるうちは利用し、有明海を骨と皮だけにしてしまった拳句の果てに利用できるなくなれば忘れ去り、お払い箱。これではひどすぎます。

今でも有明海に沈む夕日を見ると広大な干潟表面で潮が引いた道がうねり幾何学的な自然の造詣を作りだし、その景観

に心が洗われます。この美しい景観に私たちの生活を支えてくれた豊饒の海という価値が加わったからこそ、私たちの祖

先は有明海を愛おしく感じたのだと思っています。



# 先輩・後輩より

## 17代当主が語る 立花宗茂の生涯 について

高5 下河秀行

昨年晩秋の十一月一日(日)練馬区立石神井公園ふるさと文化館多目的室で、第十三回練馬まちづくり「歴史と文化講座」(17代当主が語る立花宗茂の生涯について)に一〇〇名近くの参加者があり、大変な盛況だった。

今回は、その「歴史と文化講座」で学んだ要旨を簡単に書いてみた。

まず、第一部では、17代当主が語る立花宗茂の生涯について(今から約四四九年前、立花宗茂は豊後大友家の武将・高橋鎮種(後に入道して紹運と号す)と、同じく大友家の重臣・斎藤鎮実の娘(後に宋雲院と号す)の長男として永禄十年(一五六七年)、豊後国国東郡寛(現在大分県豊後高田市)の吉弘館に生まれた。

宗茂は戸次(立花)鑑連の養子となり、実父の紹運と共に島津に抗戦。島津勢が後方に下がると宗茂は一挙に攻めに転じ島津方の守る高島居城、次いで岩屋、宝満城を奪回する。秀吉より九州一の武将と称賛され、一五八七年、山門、三潞、下妻の3郡十三万二千石を与えられ、柳

河城主となる。九州平定後は、秀吉の直轄大名となる。

宗茂は、文禄・慶長の役、関ヶ原の戦い、戦乱の時代の最後の戦いである島原の乱にも徳川幕府の命により参戦する等時代を象徴する戦いの殆どに、はせ参じており、まさに武将としては輝かしい戦歴をもつ人物でもある。

立花宗茂は、一六四二年に江戸で没する。享年七十六歳。

江戸時代の立花藩は、下谷(現東上野)に広大な屋敷があった。宗茂は実母みほ(慶長十六年没)の菩提寺 宋雲院を台東区 現東上野に創建した。臨濟宗大徳寺派の寺院である。

宗茂は、その江戸・下谷の廣徳寺に葬られていたが、大正十二年九月の関東大

震災で廣徳寺が焼失し、現在、練馬区桜台6丁目に移転し、その墓所がある。

第二部は、郷土の歴史家 葛城明彦氏による「筑後国柳河立花藩史について」の講演があった。

鎌倉期(戦国末期)は、蒲池氏が一帯を支配(十六世紀に蒲池治久が蒲池城の支配)のちの「柳河城」を築城(水堀の役目を果たすものとして、現在の掘割の原型を築く。天正九(一五八一)年、龍造寺氏の攻撃により柳河城は落城。

天正一二(一五八四)年に島原で龍造寺氏を破った島津氏は、大友氏への圧迫も強め、九州平定を目前とする。天正一四(一五八六)年、島津氏が肥後、日向から侵入すると、大友宗麟は大坂へ上り、関白・豊臣秀吉の救援を求める。



17代当主が語る戦国武将 立花宗茂の生涯について



葛城明彦氏による「筑後国柳河立花藩史」について

最終的には、天正一五（一五八七）年、豊臣秀吉により九州は、統一・平定される。九州の「置き土産」によって、立花宗茂が南筑後十三万石の領主として柳河城に入城。宗茂は朝鮮出兵でも活躍するが、慶長五（一六〇〇）年の関ヶ原の戦いで西軍に属したため、徳川家によって改易される。立花家に代わり、関ヶ原の合戦後に石田三成を捕らえた功を上げた岡崎城主・田中吉政が筑後国三十二万五千石の領主として入城、「柳河藩」を立藩した。

田中吉政と、後を継いだ四男の忠政の二代で無嗣断絶したため、陸奥棚倉三万五千石の大名となっていた立花宗茂が旧領柳河の大名として返り咲く。関ヶ原の合戦後、旧領地に復した唯一の例である。「歴史と文化講座」筑後国柳河立花藩史の後、その立花宗茂の菩提寺・廣徳寺を訪ねた。

◎と き：◇平成二十七年十一月一日  
第一～二部講演：PM一時～二時二十分  
第三部現地見学会：PM三時～五時

◎ところ：第一～二部：講演「ふるさと文化館」  
◎テーマ：◇第一部：立花家十七代当主が語る「戦国武将立花宗茂公の生涯について」

◇第二部：歴史家葛城明彦「筑後国柳河藩史」

◇第三部：葛城明彦氏のガイドで練馬区菩提拝観。桜台六丁目にある菩提寺広徳寺を訪ねた。

◎講師◇第一部：第十七代当主立花宗鑑氏

◇第二部&第三部：歴史家葛城明彦氏の講演。

「講師 立花宗鑑氏プロフィール」：一九三七年、立花和雄・文子の長男として生まれる。慶応大学卒。三井物産・日本ユニシスを経て（公財法）立花財団理事長、(有)デシドリーム代表取締役、(公財法)軽井沢美術文化学院理事事務局長、軽井沢ルヴァン美術館理事・事務局長など。◇主催：練馬区「南田中のまちを考える会」



菩提寺広徳寺にある立花家のお墓（宗鑑氏と筆者）

「筆者の一言コメント」

私たちは、郷土柳川に生まれ育ったのですから、郷土の歴史に少なからず興味を持つことが大事だと考えています。

特に立花家の藩校である伝習館で学んだこともありますので尚更だと思えます。

## 安東省菴の『三忠伝』

中56 成清良孝

安東省菴の『三忠伝』を、国立国会図書館でコピーしたのは、もう七、八年前のことになる。

天皇に忠節の誉れ高い楠木正成・正行親子のほかに、平重盛、藤原藤房が採りあげられている。

この中で藤原藤房についての省菴の記述がどうにも気になった。わたしは当時、目にするのが可能な資料をあさって、藤原藤房の実像を追った。すると、省菴の思い描く藤原藤房とは全く違った人間像が浮かんでくる。

省菴が三忠の一人として顕彰した万里小路こと藤原藤房（二二九五～一三八〇）は、後醍醐天皇の建武の政権成立後、その論功行賞の不公平を天皇に強く諫言したが聞いてもらえず、つむじを曲げて京都北山に隠れてしまった。度重なる天皇の呼び出しにも応じず、ついには出奔した。これが三忠の一人か。安東省菴の資料蒐集能力の欠如か、眼力の乏しさか。

どうも省菴は一人よがりの思い込みが

はげしい人だったらしく、いちど思い込むと、いろいろ新しい資料が出てきても、軌道修正ができない、硬直した人がらだったように思われる。学者としては致命的欠陥の持主であろう。

## 筑後国主 田中吉政・忠政とその時代

高5 下河秀行

田中吉政の柳河都市計画に学ぶ

水郷柳河は、田中吉政公を始めとする先人たちの技術と努力があつてこそ、今日の掘割や川下りなど、観光の街として今日に至っている。

私は、平成二五年十一月一日、柳川市長より図らずも観光大使の委嘱を受けたので、その委嘱式を兼ねて東京から柳川「白秋祭水上パレード」へ太宰府へNHK大河ドラマの「軍師黒田官兵衛」の観光ツアーを組んで「ふるさと再発見の旅」を企画し実施し、いろいろ学ぶことが多かった。

それと自分の生まれ育った郷土を見つめ直す、いい機会だと思つてツアーを企



画した。

即ち、柳川は北原白秋が柳川のシンボリックな詩人として余りにも有名であるが、今日の掘割などは、立花宗茂公以前の筑後の国主と言われた今回の「田中吉政公」を抜きには語れない。立花宗茂公と比べると二十歳ほど年長である。

田中吉政は、天文十七（一五四八）年、田中重政の子として近江国に生まれた。豊臣秀吉のもとで甥秀次の大老の一人となり、天正一八（一五九〇）年には、三河国（愛知県）岡崎城五万七千四百石の城主となった。慶長元（一五九六）年には、十万石の近世大名に成長し、この時、吉政と名を改めた。

### 関ヶ原の論功で、柳河城に入城

関ヶ原の戦いで西軍の大將石田三成を捕縛した論功により、慶長六（一六〇一）年三月、吉政は、筑後一円の三十二万五

千石の国主として柳河城に入部した。

城は、新たに堀をめぐらし、石塁を高くし、更に五層の天守閣を築いたり、大幅改修をしたり、近世柳川の基礎を築いた。

久留米城・福島城・赤司城・黒木猫尾城・城島城・榎津城・松延城・鷹尾城・江浦城・中島城の支城は、一門と重臣を配置し、柳河城とこれらをつなぐ道路を整備した。その後、特に柳河城と久留米有馬城をつなぐ新道「田中道」は、その道に沿って「土甲呂町」（大木町）と「津福町」（久留米市）が新しく町立した。

### 久留米く柳河往還道路を創った

この道路は、久留米く柳河往還道路で参勤交代は勿論のこと、伊能忠敬や吉田松陰も通った道でもあった。この道は、また吉政の遺徳を偲んで「田中道」とも呼ばれている。市内のあちこちを張り巡



川下りコースに建立されている筑後国主田中吉政公之像

る掘割は、岡崎時代に掘削した運河の土木技術を生かし、矢部川の水を柳河の街に導き、城下町を整備し、「掘割に浮かぶ街」として水郷柳河を創り上げた。これが現代に脈々と生かされている。

また吉政は、溝口の和紙、蒲池の陶器、上妻の茶、下妻の藁草等郷土の産業を盛んにした。

しかしながら、吉政の筑後支配は決して円滑な側面ばかりではなかったようである。領土支配のあり方を巡って吉政と重臣たちの間に軋轢があり、また三男である久兵衛を差し置いて四男の隼人正を跡継ぎに決めたことから、家中に対立が生じていたようである。こうした中、吉政は江戸へ参勤交代の帰途、慶長十四（一六〇九）年二月、伏見の旅亭で死去。享年六十二歳。京都市黒谷に葬る。西翁院（京都市黒谷）と真勝寺（柳川市）を菩提寺とする。

### 跡継ぎなく、田中家は断絶する

跡を継ぐのは、四男の隼人正と呼ばれていた忠政である。忠政は天正十三（一五八五）年生れで、襲封のとき二十五歳になっていた。

忠政の時代は、もっぱら重臣によって領内の政治は進められていたようである。忠政は三十六歳の時、江戸で病気になる。そのまもなく亡くなっている。跡継ぎがなく田中家は断絶し、二十年間で途絶えている。陸奥棚倉の大名となっていた立花宗茂が旧領地柳河の大名として返り咲いた。

二〇一五年 木村さんが受賞された作品二点他一点をご紹介します。

## 木村峯子（松峯）さん（高6）の受賞作品

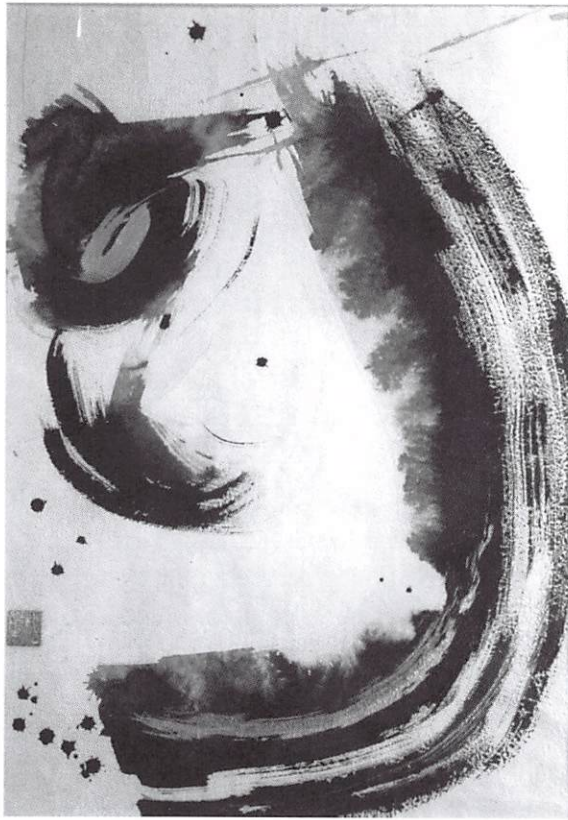
南伊豆野上小野の書道「子（さん）の（ほ）ど」で、終戦70周年記念「終戦70周年記念 沖繩平和芸術展」

### 木村さん（南伊豆）が金賞

墨象作品「幸せはここに」



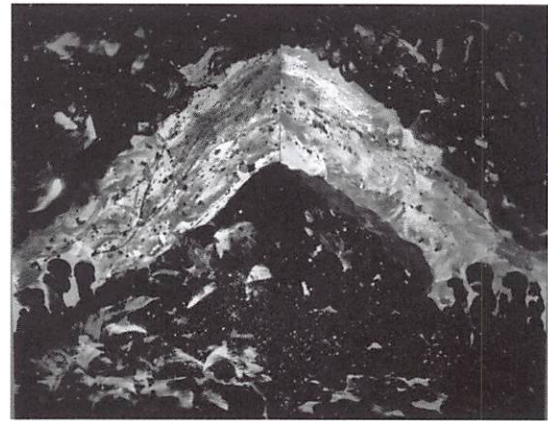
行委員会主催で金賞を、輪のように描いた。薄い、品があった。作品は、受賞した。墨象は前衛書道とも言われ、自分の中にあるイメージを、前に描いて墨を乗せることで、にじみを出し、ソフトな印象に仕上げた。多量の墨と金泥、銀泥を使う。縦70cm、横50cm。同展は初開催。全国から絵画や工芸、文芸、写真など、100点ほどの出品があった。作品は、額を貸した。



縦75cm×横50cm  
終戦七〇周年記念沖縄芸術選抜展  
しあわせ  
幸福はここに



縦75cm×横54cm  
欧州文化貢献墨象作家大賞  
季節の狭間はざまで



縦300cm×横300cm  
地球温暖化防止をテーマにした  
深海生物コンプレート

「今度はいつにする？」  
「そうねー、次の日曜日にしようか」  
これで私たちの高尾山行きの話が決定。昔は12期の仲間10人前後で、関東近県の山々へ月に一度のハイキングでした。  
でも、色々な事情で一人減り、二人減りして、今や二人だけの高尾山限定の山歩きになってしまいました。  
その貴重な相棒は、柳河小学校、柳城中学校と変わった、同期の村上国子さんです。高尾も「こ」何年か「ミシユランガイド」とかに載って以来、銀座通り並みの混み様です。大勢の人たちがどんどん登っていきま

が、私たちはひたすらマイペースです。家族のこと、仕事のこと（二人ともまだ働いています）等々、



## 二人だけの高尾山行き

高12 小畑夕工子

取り止めもない話をしながら登ります。何しろ65年来の付き合いなので、話の種に困ることはありません。  
また、季節の花々を楽しんでいる頃には頂上が見えてきます。頂上は人が多いので、迂回して峠の「もみじ茶屋」で昼食というのが私たちのコースです。茶屋のなめこ汁を飲みながら、今回も無事登れたことに感謝し、次回もまた来られるようにと、心から願う次第です。  
高尾の地元の人が「高尾リハビリ病院」と教えてくれましたが、本当に少し体調が悪くても、登って下りてくる頃には忘れていくというご利益もあります。  
これからも「健康」と「友情」を大事にして、一回でも多くリハビリを兼ねて高尾山行き出来ることを願っています。

## 高田町の新開能について

高14 近藤新一  
(みやま市高田町在住)

新開能は、高田町にあり、近くには西鉄電車の天神・大牟田線が走っており、この柳川駅と大牟田駅の中間に、開といふ、駅がある。平成19年1月に、全国的にも稀であった一郡一町の高田町は、山門郡・瀬高町と山川町と三町が合併し「みやま市」となっている。

開駅で下車して東へ300メートルの所にある、宝満神社では今も、毎年10月17日「能」「狂言」が午後3時から夜まで奉納されている。祭り当日は宝満神社境内に、能舞台が設営され、3ヵ月前から練習を重ねてきた、南新開・北新開・能保存会の子どもから、お年寄りまでの約70名の皆さんが厳肅のなかおごそかに奉納されているのである。

神社境内の参道には夜店が並び、近郊の家族連れをはじめ多くの人々が幽玄の世界に酔いしれ、研究者のすがたも見られ毎年、約500名位の皆さんが、お参りされていて、盛大の中つづいている。昭和51年4月24日には福岡県の無形民俗文化財に指定されている。



能楽は、元来、貴族的芸能であり、今も全国的にはプロの芸能集団によって各地域で上演されているのが、一般的である。しかし当地区では、明治以降、南新開・北新開の住民の手によって自主運営されているというのが、大きな特徴でありそこに意義があると思われる。

今でこそ自主運営されているが、それまでには幾つかの経過があるので、簡単に記しておきたい。能・狂言の道具は代々、立花家が所有していた。明治以降、新開の皆さんによって奉納されるようになってからも、柳川の御花まで大八車などで道具の借用に往復した。借用には一週間ほど前に提出が必要だったようで、更に百円を納めていた、と高田町誌には

記載されている。大正・昭和になって、この慣習は続いたが、昭和23年になりついに立花家より五百点を超える、道具一式を譲り受けることとなった。

平成10年には、福岡県・高田町の助成により膨大な道具を保存できる建物が建設された。「新開能道具調査報告書」によると、面65点・装束197点・小道具74点と記されている。

前後するが、この新開地区は、柳川藩が歴代にわたり有明海の干拓によって造成された土地であり、以降農業の盛んな土地である。柳川藩祖・立花宗茂公が、氏神であった、宝満宮に朝鮮遠征の武運長久を祈願したのに端を発し、享保元年(1716年)四代藩主立花鑑任公が御願成就の能楽を奉納したのが、おこりとされている。

### 〔最近の新開能の動き〕

今も、今後も毎年10月17日には、宝満神社境内で新開能・狂言は奉納されるが、その他の取り組みについて少しふれておきたいと思う。

三町合併まえまでは、昭和62年から平成18年まで、(かかしと、能のふるさと)をキヤッチフレーズにして「てもよかまつり・たかた」という、高田町あげての街おこしのための行事が毎年「濃施山公園」や「高田町役場敷地内」で開催されていた。

その中でも、「新開能」が上演されてきた。平成14年には山形県からの要請を受けて、狂言・能を披露し、更に近郊の防災協会の記念大会でも、上演されてい

る。

平成19年の三町合併後は、社会教育施設「まいピア高田」で毎年秋の季節に(みやま市文化祭)が開催されているが、その中でも「新開能」が上演されている。今後、新開能は南新開・北新開、地区は当然の事としてみやま市、更には福岡県あげての保存活動が期待される場所である。

## 門一勝屋 国一 勝屋 国師 参加して

高14 高木 節子

邦楽界の第一人者、杵屋流杵屋勝国師匠とその一門によるハワイ公演が2月19日、ホノルルで開催されるとのこと。で、ツアーが生まれ、私も勝国師と伝習館高校の同期生(1年のとき同クラス、そのあと勝国さんは転校)である縁から同行させていただきます。

この公演は長唄三味線方・杵屋勝国師が、日本の伝統文化を重んじるハワイ大学のフレッド・ラウ教授(ハワイ大学マノア校音楽科代表、音楽民俗学)からの招聘を受け、ハワイ大学での講演、続いて学内のマノア・オービス音楽堂で、演

演奏を行ったものです。

演奏会は杵屋流得意の長唄ではなく、杵屋勝国師作曲の曲目が披露されました。ハワイの聴衆にわかりやすく北原白秋作詞の「若き日の夢」、川崎哲男作詞の「柳橋」、ユーモラスな「昔嘶たぬき」、さらに抄曲集「四季」で構成。「若き日の夢」は200年の伝統芸である長唄を現代風にアレンジした意欲作で、作曲コンクールで優勝した作品。「柳橋」は澄んだ高い声と太鼓、笛に加え、板をたたく斬新なリズムで聴衆を引きつけました。また文福茶釜をテーマにした「昔嘶たぬき」では英語でのかけあい面白く、会場を大いに沸かせました。抄曲集



「四季」では春「元禄花見踊り」、夏「あやめ浴衣」、秋「月」、冬「鶯娘」と日本の情緒を表現。最後は最高の技量を要求される難曲「二人枕久」が披露され、万雷の拍手を浴びました。

演奏は勝国師の指揮のもと行われるのですが、コンダクターが演奏者に背を向けて指揮するのを不思議に思った観客からの質問も飛び出しました。外国の方の目には、指揮者の掛け声で演奏される邦楽は不思議に映ったようです。

勝国師は「立ち方舞踊のない演奏ですが、アメリカの方に十分喜ばれるプログラムにしたので、ご理解いただけたのではないかと思います。次回もぜひハワイでの公演ができることを楽しみにしてお

ります。今宵は本当にありがとうございました」と挨拶し、大盛況のうちに幕を閉じました。海外で、あらためて伝統芸能の素晴らしさを再認識した次第です。

### 【杵屋勝国プロフィール】

福岡県みやま市生まれ。6歳のとき杵屋寿太郎師に入門。14歳の時、七代目・杵屋勝三郎師から杵屋勝国の名を許される。

上庄小学校、瀬高中学校、伝習館高校を経て、東京芸術大学邦楽科を卒業。歌舞伎のアメリカ、ロンドン公演にも出演。ハワイ、ヨーロッパでの長唄演奏公演など海外での活動も精力的に行っている。歌舞伎界では坂東玉三郎、故中村勘三郎の歌舞伎の立三味線を務めている。

**同期会 in 豊橋**  
(東京中部合同同期会)

高18 秦 正子

2015年3月に開催された東京地区の18回生同期会に参加の機を得た際、私の住む中部地区では同期の集まりがないことから、東京地区幹事の福山さんから提案されたのがこの合同同期会開催のき

っかけとなりました。

同じ中部地区に住む御厨博子さんの多大な協力と福山さんの的確なアドバイスのもとに、場所・日程・宿泊・名簿・イベント等々の計画が進み、7月の25日、猛暑の中、勇気を振り絞った東京からの遠征班9名、中部地区から9名(内、静岡から2名)が合流し、東京/中部地区初の合同同期会を豊橋市で開催いたしました。

7月下旬の炎天下を避けて選んだ同期会会場は、ホテルアークリッツ豊橋16階のレストラン。めまいを感じる程の高さから足もとまでの、総ガラス張りの窓を通して外を見ると、市内、蒲郡、新城設楽地方(長篠の合戦地)の山々、渥美半島などの景観を歩き回ることなく一望できる。前期。高齢者にやさしい場所でした。

49年間のブランクを超えて出会った私たち(4ヶ月ブランクの人もいました)が、「49年」なんて1分程度のもの、「時」のタイムマシンは私達を一瞬にして「伝習館生」へと導き、同期の「梅(桜でした)」が咲きはこりました。

「わあ、変わらないね」「お久しぶり!」「あれえ、見たことあるような……」「うーん、どなただったかなあ……」、様々な思いが流れる一瞬。温かく、なつかしく、嬉しく、何だか愛おしい再会でした。さて、乾杯が済み、運ばれてくるオードブルの説明を受け、「まずはフレンチ」の雰囲気もつかの間、気がつくくと、「鮮魚と海の幸のポワレ……、三河鶏の

シュークリーム……でございます」と、舌を噛みそうな料理の説明も耳に届いているのかいないのか、座はすっきり和んで、席はいい感じに流動的になっていきました。

二次会場所は、若者に人気のカフェで、更にリラックス。思い思いの過ぎ去った日々が脳裏に浮かび、そして心に広がる。このひと時を『胸に刻んでおこう』と思ったのは、私だけではないかもしれない。みんなの笑顔の中には、卒業後49年間迎ってきた、嬉しかった思い、つらかったこと、驚いたこと、悔しかったこと、頑張ったこと、どれもが、今日の一瞬の出会いの中で『幸せ』に変わったような笑顔に見えました。49年前に心に秘めた「淡き恋の告白」を、やっと成就できた人もあったと聞きました。何と素敵な同期会！羨ましくもあり、嬉しくもあり（ふっと、ため息。今度、高校生になつたら、私も是非……）。

尽きることのない想い出話、これからの希望、それぞれの思いに耳を傾けたこの集いも時間とともに過ぎゆく夕方、中部の仲間はまだの逢瀬を願いつつ、名残惜しく帰路につきました。

東京グループは、第2の目的、新居町の「手筒花火」会場へとJRで出かけました。「これぞ男だ、どうだ！」とばかり、その意気込みの素敵なこと！腕に大筒を抱え火の粉をかぶる、男の火祭り。その「はっぴ姿」(Happy?)にあやかるうと「伝習館古男児」も捨てたものではない。

「手筒花火」見物に参加した人達の話に

よると、「会場は中学校の校庭で無料の立ち見席、2時間あまりの立ちっばなし。もちろんシートを敷いて座ってもいいが、煙火会場と呼ばれている通り、時に猛煙と火の粉が飛んでくる。数人ずつが次々に火をつけた大筒を抱え、10数メートルにも及ぶ火柱を支えて火の粉のシャワーをかぶる。すさまじい火と煙とジャーンという火葉が高く吹き出る音の迫力を目の当たりにし、皆圧倒され感動！」

火柱と煙に包まれたその光景は、火薬のにおいと共に脳裏のすみに残ったことと思います。

翌日26日、第3の目的、伊良湖岬へのドライブ。3台の車に9人が分乗、私は地元案内人としてナビゲーターを仰せつかる(兼運転手)。ところが、この先導車、これが全く素人で当てにならない。暑さのためか緊張のためか、走行車線を間違うなど、多少運転に乱れありのはらはら運転。後続車に心配かけつつも何とか無事に、最初の目的地、田原博物館に到着。

まず「渡辺畢山」を知る。江戸幕府後半の田原藩家老であり画家であった「渡辺畢山」の作品に触れ、当時の幕府の外国船打ち払い政策に反して断罪の根拠となり、「自刃」に至る歴史を知る。

別の展示室では、太平洋戦争後70年の展示が催されており、米軍はこの豊橋地区にも常駐して統制を行っていた由、アメリカの大方針にして微に入り細に入り、の占領政策には驚いてしまう。B29による空襲では約1000人の戦死者、負傷者が出て、豊橋市内はほとんど焼け野が

原になっている。

緑に囲まれるこの博物館を後に、渥美半島三河湾岸の国立公園を走ることしばし。三河港は最大規模の自動車輸出入の拠点であり、その臨海部には、トヨタ自動車をはじめその関連工場が立地している。半島付け根には、日本最大級の「汐川干潟」があり、約250種の鳥類が観察でき、渡り鳥の飛来地として知られる。春になると、国の天然記念物に指定された約200株の自生するシデコブシが花を咲かせる。何度も通ったドライブラインから見るこの日の三河湾の白い波が、太陽に反射していつになく目に痛く感じました。

それぞれの車中では、個性豊かな会話が花開いた様子。万葉集の朗詠が流れる「高らかな会話」に盛り上がった車もあったとか。私の車中もご多分にもれず、「頼れる紳士」(バック駐車はすべてこの方にお任せ) 達との会話に和ませて頂きました。

昼食は、近くに漁港があることより地元の間でかかった魚の刺身と煮付けや焼き大あさりなどが食べられる料

理屋さん。嬉しかったのは、飲み助のオジサン(この方の自称です、私は申しておりません、念のため)の言ったこと、「これ、東京で喰ったら数千円はするぜえ！ここだと半値以下?! いいトコ連れてきてもらったよなあ、秦さん、ありがと！」。他の皆さんも「そうだそうだ」とうなずいてくれている。昼食会場をどこにするかでこの1、2カ月間、渥美半島「どんぶり街道」を走り回った甲斐が



筆者は写真最後列左から2番目

ありました。雰囲気の良い、この旅館風料理屋は、渥美半島突端に近い、隠れ屋のような所にあります。お陰様でますますオーバークワイトに拍車がかかりました。でも、皆さんに気に入って頂いて嬉しく思います。その、オジサン、今回は運転手さんで、冷えたビールも飲めなくて残念でした。次回は是非ゲストで来てくださいね、お待ちしております。

美味しい食事を堪能した後は、伊良湖ビューホテルの灼熱のオープンエア、屋上展望台から太平洋の水平線を眺める。「想い出のサンフランシスコ」を心で口ずさみながら、遠く水平線の向こうのサンフランシスコに思いを馳せる。眼下の岩や小島に寄せる波、伊良湖岬突端へとやさしく続く白い砂浜、恋路が浜のまばらな人影に、皆、好き勝手なコメントを言い尽くすと、暑さに耐えかね、よく冷えているレセプションホールに退散。一息つく。

みなさんご存知ですか。恋路が浜は島崎藤村の抒情詩「椰子の実」の舞台になったところです。「恋」の落とし物をした人は、きつとここで見つかるはず(?)。

三島由紀夫の小説「潮騒」の舞台になった「神島(三重県)」もこのホテルから目の当たりに確認でき、修学旅行に通じる学習もできました。

猛暑の時期ではありませんでしたが、大変素敵な伊良湖岬への旅でした。恋路が浜には「大あさり」や「サザエ」を焼く香りが漂い、炎天下の中、岬の白亜の灯台へと濁った一本の道が続いていました。

まさかとは思いましたが、モノ好きな二人のオジサンが酷暑にもめげず、淡々と、汗だくで灯台まで歩いて行ってきました。このオジサンパワー、お年にめげず恐るべし。私達はクーラーの効いた部屋でパイナップルを頬張りながら左うちわでくつろぎました。

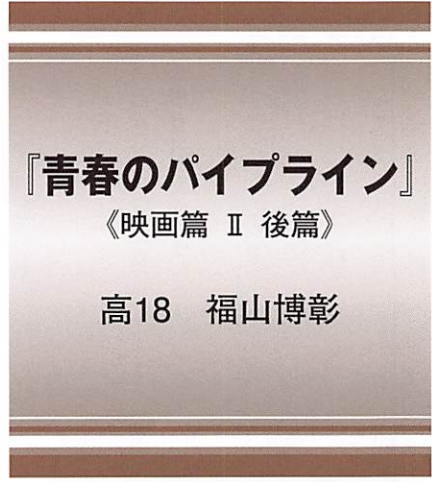
同期会散会が刻一刻と近づいてくる。豊橋に残る「私」は後ろ髪を引かれる思いでした。「いや、帰って行く皆さんの後ろ髪を引く思いで一杯でした」(これは、同期会企画主、福山氏の弁)。「見送る」寂しさってこんな感じ、と改めてかみしめた瞬間です。また、お会いするまでごきげんよう。

豊橋の slow life にぶつぷりと浸かっている私にこのような楽しい企画を担当させて頂き、再び「水を得た魚」に戻してくださいました「同期会 in 豊橋」にお越し下さった皆様に、改めてお礼申しあげます。この2日間の感動の冷めきらないうちにと思いペンを取りました。

「出席者」(敬称略)

東京地区…石川滋、井上頼子、大津博、加納和則、西田美保子、松藤由朗、満生英二、森田啓悟、福山博彰(幹事)  
中部地区…荒巻寛、緒方敬四郎「静岡」、高宮直子、藤丸廣光、本村純一、吉田シズカ「静岡」、與田はるみ、御厨博子(幹事)、秦 正子(幹事) 以上

※筆者は写真最後列左から2番目



前回は映画篇Ⅱの『荒野の決闘』の前篇をお話しましたが、今回はその後篇。(仮想インタヴューアーは引き続き、内田恭子さんでお送りします。)

第一章…西部劇キチガイ、最高の映画  
第二章…この映画の特色、ストーリーの話、OK牧場  
第三章…実在の人物、七人の侍との関連  
第四章…稀有な西部劇、シエイクスピアのセリフの話、お誘いのお断り

### 《第5章》

「では、気を取り直して出演俳優の話。主演のヘンリー・フォンダはジェーン・フォンダやピーター・フォンダのお父さんですが、彼はジョン・ウエインみたいな西部劇役者ではありません。人気俳優が西部劇にも駆り出されたと言うところでしょうか。30代後半の男が抱く淡い恋心を大変うまく演じています。」

ドク・ホリデイを演じるビクター・マチュアは『サムソンとデリラ』などの史

劇俳優で有名で、がつしりとした丸顔で身体も筋骨隆々の堂々たる体格です。ですからドク・ホリデイは結核にかかっているのに、とてもそういう半病人には見え、彼のドク・ホリデイは似つかわしくないとの厳しい見方もあります。でも、そこまで現実的なことを言うなら、オペラの蝶々夫人は20歳前の愛らしい日本人なのに、青い目の欧米人が演じたお世辞にも愛らしいとは言えない太つちよでトウを過ぎたソプラノ歌手の演じる蝶々夫人は何とも違和感が…。彼

のドク・ホリデイは、私はいいと思いません。

—女性クレメンタインの他には出てこないのですか？  
「いえ、出てきますよ。クレメンタインは可憐で清楚な美人のキャシー・ダウンズといういかにも昔型の美人女優さんが、それらしく演じています。その他にはリンダ・ダーネル演じるドク・ホリデイの今の恋人である酒場女が、クレメンタインの清純さと対照的な熟れた魅力たっぷりに出てきます。この酒場女はアープの弟殺しの証拠の件でクラントン一家の息子に拳銃で撃たれてしまい、ドクとクレメンタインによって手術を受け、命を取り留めたと思われ一時はほっとしますが、可哀そうに死んでしまいます。この時のドクの落ち込みぶりが哀しく憐れです。」

《第6章》  
—話は最初に戻りますが、事件の起こった1881年というところ…明治14年

すが、するとこれは、たつた130年ほど前の話なんですか!?

「そうなんです。日本の明治時代はアメリカの西部ではまだまだ開拓の時代であり、こういう決闘と言うか銃の撃ち合いが頻繁に起こっていたという、日本では帯刀禁止になっていたのにアメリカでは拳銃社会の真つ盛りであったことに驚きますよね。その精神は今でも引き継がれて、自由と権利のために自分の安全は自分で守る……カッコイイ言葉で、今でもその考え方が支配的ですが、言い換えればアメリカ社会の安全を銃に依存している、これはとても怖いことです。」

因みにアメリカには銃砲店が何と2万5千軒もあるそうですよ。メッターノウズの店が1万4千店舗であることを考えると、その2倍近くもある多さに驚くと同時に、社会生活に密着して殆んど個人経営の店で成り立っているところが怖ろしいです。政治家、全米ライフル協会などの強力な底辺支持もあり銃の廃止は簡単にはできない政治社会状況・環境みたいですね。でも是非とも銃自体をフリーズして貰いたいものです。」

「最近西部劇は余り多く見かけませんが、何か理由でもあるのでしょうか?」

「西部劇映画のそもそも論ですが、昔はインディアンが悪者でそれを退治する騎兵隊、みたいな桃太郎流の勧善懲悪の筋書きが西部劇の主流だったのですが、人種・人権問題に対する価値観・見方が変化してきて、それまでの支配者側からの歴史が徐々に修正されてきました。1492年コロンブスのアメリカ大陸発見が

「到達」に変わり、インディアンが先住民という表現になり、昔の西部劇のパターンでは作りづらくなり、近年では西部劇映画は衰退してしまいました。」

白人による鉄道敷設、自動車道路建設、森林伐採、アメリカバイソンの大量狩猟などなど、よく考えると西部開拓は同時に環境破壊の第一歩だった訳です。加えて言いますと、先程の人種的人権尊重の観点から、インディアンが出てくる『駅馬車』や黒人奴隷が出てくる『風と共に去りぬ』の映画は、アメリカでは上映禁止や規制の条例がある州もある様ですから、芸術も時代と共に見方や評価が変わり、ややこしく難しい時代になってしまいました。」

## 《第7章》

「おつしやる通り、自然乱開発は現実的に深刻な社会問題ですね。ところで先程の全米1万4千店舗のメッターノウズの店って何ですか? 何屋さん?」

「マクドナルドのことです。アメリカではマクドナルドと発音しても通じないし、実際に、日本人には米国人の発音はこういう風に聞こえる……みたいですよ。」

「あら、そうかしら……?! ……うん、私、ドイツ語が専門だから……。その発音の表記はかなり極端にも思えますが。」

ともかく、そもその話、題名についてお伺いしたいのですが、西部劇なのに何でオー・マイ・ダーリンなの?」

「昭和30年代に馬が主人公の『早射ちマック』というテレビアニメがありましたし

た。このマックの話がしくてマクドナルドが出てきた訳ではないですが、滝口順平の吹き替えでマックがよく歌っていたのが、オーマイダーリン、う、う、クレメンタイン……という歌でした。この歌は、1849年頃にカリフォルニアのゴールド・ラッシュに集まった人々の中にいた少女、クレメンタインが不幸にも川で溺れて死んでしまったという、実際にあったことを歌にしたらしいです。この映画のクレメンタインという女性とは何ら関係はないんですが、映画の演出としてこの題名にしたのでしょう。直訳は『愛しのクレメンタイン』ですが、これでは余りにも西部劇らしくないので、日本の配給会社がかにも西部劇らしい『荒野の決闘』という題名にしたのだと思います。この辺の話は映画評論家の淀川長治さんに聞けば分かると思います。が、もうこの世にいらっしやいません……。」

因みに、日本ではこの歌は、ユキキヨよ、イ、わ、よ、の『雪山賛歌』として有名です。これは、後に第一次南極観測越冬隊長になった西堀榮三郎氏等が京大山岳部時代に原曲の替え歌として作詞したものだそうで、原曲は3拍子の3拍目から歌い出す弱起の曲です。でも『雪山賛歌』は1拍目から歌い出すのと3拍目からの、ゆききよ、い、わ、よ、の楽譜が混在しています。」

「へえ、そういう題名と歌だったんですか……。アメリカ人が知ったらびっくりするでしょうね、『雪山賛歌』なんかになってしまっているとは……。ねえ。」

## 《第8章》

「では、私のアブナイ話と実弾射撃経験のこと、ジョン・フォードのお気に入り、ロケ地のお話をしましょうか。私が西部劇キチガイであったことはお話ししましたが、中学生の時に、細い鉄管の片方を塞いで中に点火したBB弾を入れたすぐ後に太い釘を入れ、中の爆発で弾の代りの釘を発射させ、10m以上離れた木堀にめり込ませる遊びを隠れてやっていました。今考えるとちよつと危険なことをやっていた感じがします。」

その13年後と20年後1982年に、アメリカで2度本物の銃を撃つ機会がありました。拳銃とライフル両方です。」

「え、スゴイですね、本物はどうでしたか。重いのかな? 反動とかがすごいでしょ? ちゃんと当たるんですか?」

「ライフルは山の中で撃ちましたが、ズキーンと言う感じで反動も音もそれほどすごくはなかったんですが、拳銃は最初の内は怖かったです。まず、1・2kg位あるのでずつしり重し、日本人の手には大き過ぎる。引き金がとても軽く、思ったよりも早く撃鉄が落ちて急にバン! ともの凄いい爆発音がして、撃つ度に耳がキーンと鳴り一瞬周囲の音が聞こえなくなり。特に室内射撃場では、この爆発音が大きく聞こえるので怖かったです。遮音用ヘッドフォンもありましたが、耳が聞こえないと却って怖い。よく映画とかで銀行強盗が金を出さないで撃つぞと脅かす場面がありますが、言葉で脅かしただけでは分からない。ま

ず本当に一発撃つのが効果的です。特に銃の怖さを知らない日本人にはそうです。そうすればそこに居合わせた人達はこの音に驚愕し絶対に抵抗やら警報のために指一本動かさずとはしません。音だけ聞いてもホントウに怖いんですよ。銃は脅かすだけでなく、まず撃て……と、これらはアメリカの銀行強盗の手引書に書いてあります。ん？ 冗談です。私の映画手帳には書いてありますが（笑）。

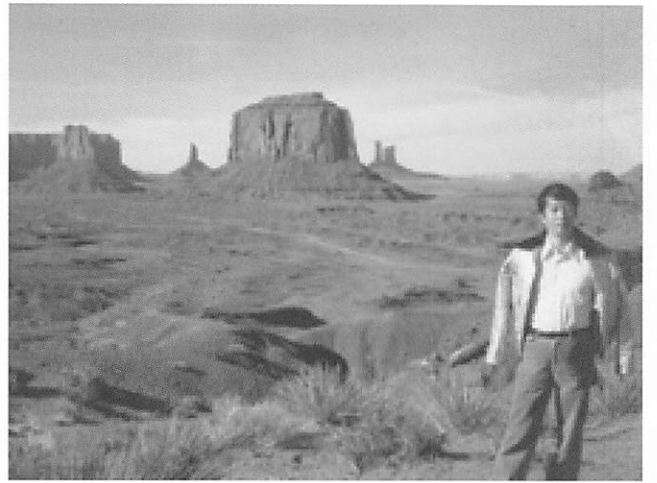
—え？ それってどんなものかしら……今度是非見せてくださいね。

「それと、実弾射撃で初めて知ったのは、撃つと火薬の爆発粉が弾倉から後ろに飛び散って来るんです。手や顔にかかるので、射撃場では必ず保護メガネをかかせられました。ははあん、警察ドラマなんかでよく言う硝煙反応とはこのことかと思いました。45口径でしたので、

反動は思ったよりもありませんでした。口径のもっと大きく火薬量も多いマグナム銃だと衝撃も大きいでしょうね。ま、素人の初体験にしては25m先の30cmの紙の的に良く当たりました。両手撃ちでしたが、片手じゃ無理ですね。200発撃った十数枚の内、記念に1枚日本に持ち帰りアルバムに貼ってあります。

次の写真は、ジョン・フォードが撮影に好んで使った西部のモニユメント・バレーです。広大な荒れ地に巨大な岩が点在しているあの風景を見たくて、ここを1982年に訪れました。

アープがクレメンタインに別れを告げて、遙かに続くあの一本道を馬に乗って去って行く……今写真を見ても大変懐か



しい思い出です。

さて、前々回に話したことで一つ修正があります。映画は最後まで見ると言いましたが、最近の映画のタイトルロールは邦画・洋画ともグダグダと異常に詳細で長く、しかも映画とは全く関係のないつまらない歌も流れるので、げんなりさつさとお帰りになってもいいですよ。

それでは、長々とお付き合い頂き有難うございました。サイナラ、サイナラ……。

《番外篇》(フィクション)

【インタビュウが終わってから】

「お疲れ様でした。これでお別れですが……内田さん、私とお食事でもしませんか？」

—ごめんなさい、スケジュールがタイトですし、ストレートにお誘い頂いたの

でこちらも率直に申しあげますが、そもそもオジサマ、私のタイプじゃないんで……。

「う〜ん……初対面の人にキツイことをはつきり言いますね。(いつもこのパターンで断られるんだよね、俺は。)」

—おじさまみたいな人、怖そうだから……。

「(横向いて) こういう気の強いコ、好きなんだよね。私はソフトで優しいですよ。」

—じゃなくて、本気で迫られそうだし……。

「でも、そういうのっていいんですかねえ……見かけだけでタイプじゃないとか決めつけるのって。自分の世界を狭めますよ。もつと広く観て欲しいなあ。男が女を選ぶ時はタイプでいいと思うんですけどね。」

—あら、それは随分と偏見のある言い方ですね。男の独りよがり、身勝手じゃないかしら。女だって男の人をタイプや感性で選ぶことが普通多くありますから。

「ん？ それは貴女みたいに自分に自信のある女の人しか言えないことなのでは？ その美貌と知性だと若い時から男の人にちやほや持てはやされているんでしょうからね、さぞかし。わがままも言えるし。」

—かなり自己チューエゴ的な発言ですね。男性中心社会、男は感性で選んでもいいが、女はダメだということですか？

「いいえ、そんなことは言ってません。男は中身で勝負だから、中身を見てくれ

と言っているんです。要は、例えば背の高い人がいいとか、高倉健タイプがいいとか言われても、そうでないタイプの男は努力しようにもどうにも対応手段がないんです。」

—オジサマだって顔に好き嫌いがあったり、スタイルのいい方が好きですよ。それと中身とは具体的に何のこと？

「それは簡単に言うのと、実力ということ。仕事、能力、人格、人間性、信念、幅広い人脈とかを持つ、いわゆるできる男。やはり仕事のできる男って女性から見ても魅力的だと思うでしょう？ お金も……。」

—それは否定しませんが、社会的地位とか能力とかは余り関係ないですわ。実力があって、女性に対して思いやりとか優しさとか包容力のある人がいいですね。

「なんとまあ理想論なこと。実力も優しさもあり、しかも信念も金もある男がいいと言いながら、本音では見た目とかタイプとかで好き嫌いを決めてしまうんですね。タイプや感性で選ぶと言われると、男としては入れる門が非常に狭くてシャットアウトされてしまう。それは女性にとって損なのではないかと思えます。これがまさにアイ・キャント・ゲット・スターテッドという状態で何も始まらないんです。(既往ウエスト・サイド物語篇をご参照)

タイプで受け入れられないとなると、結局、場合によっては女性のお好きなお金にモノを言わせることにもなる……。ま、中国人みたいに、お金を稼ぐ男が一



一番魅力的な人間で、結婚したい人の第一の条件、と言う女性の方がある面では分かり易くていいという割り切った考えもできますが。」

「あらあら、それってすごく極端なお考えで飛躍し過ぎていますね。女性だつて男の人を見かけただけでは判断していませんわ。けどお金なら何でも動かせるだけでも?! そりゃ正直、お金には魅力を感じますが、それが一番ではありませんわ。そうだとすると味気ないお話です。女性をお金で動かせる物扱いするのは、ひどいですし、女性の私にもプライドや言いたいことが沢山あります。」

「ちよつと待つてくださいよ。お金と一言に言つても努力なしに親からの遺産・財産持ちの人、宝クジなどの不労所得の人は別として、自分で稼ぎ、自立して一財産作った男だつて沢山いるんですよ。努力の結晶として……。そういう場合は、お金はその人の能力の一部として評価されると思いますがね。医者や弁護士、IT起業家、アスリートや芸術家、投資家など能力の高い男、サラリーマンでもできる男と高収入に惹かれる女性は大変多いはず、でしょ?」

「それはそうですが、そうするとおじさまは、恋愛にも妥協や打算が必要だとおっしゃるんですか? 純粹にその人の魅力に惹かれてはいけない、我慢しろと?」

「そんなこと言つてないですよ。もちろん人生には妥協することも計算的にならざるをえないことも多々ありうるでしょ。人生における夢にしても学校にして

も仕事にしても恋愛でも結婚でも、全て百パーセント思い通りに来ている人なんかいないはずですよ。全てセカンドベストで来ている人でさえ少ないはずですよ。つまり異性を選ぶに当たつて、感性やタイプだけで決めるのは極めてリスクが高く、損をする可能性が高いという見方です。人は色々な側面から総合的に判断すべきということですよ。まあ、芸能人なんかは、好き嫌いだけで結婚する考え方の人が多く、私としては非常に羨ましい限りです。純粹で動物的な惹かれ方ですが、男を見る目がない、男の価値を知らない、分からない女が多い。所謂イイ女ほど男が寄つてくるから、男を感性で決めてしまう。その結果、男に失望し男はもういいわ、と言う女に限つて、可哀そうに真実の愛に恵まれず、男に対し不満だらけだけど未練があり忘れられない。」

「え? そういうことなんですか?! お聞きしますと、率直に申し上げて、そのお歳でご自身を相当大評価していらっしゃるようで、また、何かすごく女性に対してのご不満をお持ちのように思えて仕方ないんですが、違いますか?」

「え? 私のことを自信過剰だと言われるんですか。いや、理論上の話をしているんで、不満とか、そんなこともないですよ。」

「特定の好きな女性に対しても、ですか?」  
「エッ、う〜ん……」  
「ズボシ、ですか……。先程からかなりエスカレートして極端なことばかりおっしゃっています。好き嫌いで相手を

決めるのは羨ましいと言つておきながら、男は中身で勝負だとか男の価値を認識せよとか、ちよつと言つてることが矛盾していませんか。オジサマのもう古い考え方、お食事デートでこういう話をするの面白そうですけどね……」

「え? 全然古くなんかありませんよ。私は根も見かけも真面目、誠実、保守的ですが、恋愛に対する考え方は反対に極めて急進的です。例えば、好きになった人が結婚して子供も二人いる、だからなんだというんですか? そういうことは関係ない。だつて、好きになつたらしょうがないでしょ。僕はその人の全てを受け入れますよ。だから世の中、離婚とか不倫とかが実際に多いんじゃないですか。失望、借金、暴力等が原因の場合も多いでしょうが。私は女性を本気で好きになつた場合は覚悟をします。腹を括り誠実さと責任を将来も持つて好きになる、これ、いけませんか?」

「え?! 奥様がいらつしやるのでは? 相手も旦那、彼氏、家族がいるでしょ。」「いるからなんですか? まずは願いが成就することが先決です。僕の場合は不倫とか浮気とかはありませんから。好きになつたら本気。小中高校、大学、社会人と、今まで好きになつた人に順番をつけたら、現在の(結婚)相手が本当に一番と言えますか? 人生のどこで一番好きな相手に出会うか、分かりませんですよ。」

「まあ、何と都合のいいことばかり。あきれてものが言えませんが。おじさま、気が多いですね。お仕事は材木屋さ

ん? それともプレイボーイなのかしら?」

「とんでもないですよ、全然違います。ロマンチストや恋愛至上主義の人にとつて、恋愛は非常に重要なことです。お金や仕事に夢中、研究や芸術などに打ち込んでいる人にとつては、恋愛だとか結婚なんてどうでもいい話でしょうけどね。私は、頭の中では妄想遅いですが、行動に移すことは極めて稀です。そもそも私はオヤジの転勤で全国的に転校を数回も繰返しました。経験がない人には分からないでしょうが、転校と言うのは強制退去で、人と場所とがいきなり別の世界に変わるんです。好きな人がいても否応なしに離される、そういう環境・経験から私の人格や恋愛観が形成されてきたのだからと思えます。」

「転校と恋愛観、その辺は理解できる気がしますが、おじさまはロマンチスト? そもそも女の人のどこを好きになる?」  
「顔、声、肢体と感性、欲望かな……。子孫を残したいと思う人でないと、どうもね。」

「あらッ、好きな人を中身で選べと言つておきながら、実際、ご自身は見かけや感性、欲望ですか?! 最初から矛盾だらけですね。先程の人生で一番好きな人の話など、余りに大胆・傲岸不遜なお考えでついでに行けません。センセイシヨナルなお話も支離滅裂になつてきてますし、論点もすれ違つてきて噛みあつてないわ。ははあ……ひよつとしてオジサマ、なんか私のことを最初からわざと挑

発していませんか？ そういう作戦？ あら、話にまんまと乗せられてしまったかしらねえ……

「そう？ 男女の恋愛感情なんて矛盾の見本みたいなもので、理論じゃ到底割り切れない。お互い同士一番好きな人と結ばれたカップルなんて、十万、百万に一組位なのではと。これ、極めて不純・不誠実、無責任、過激で危険な考え方?! へへへ……」

—おじさま、重要な事を忘れていますわ。それは、それまでに失恋もしているでしょうし、一番好きな人に愛が受け入れられるとは限らないのではないかしら。それこそおじさまのは理想論で中高生の青春真つただ中のレベルと思いますわ。

「その通りですよ。私の恋愛に関する考えは高校生で止まっているかも知れませんが。昔の思いが変質せず風化せず、そのまま現れてくる、だから標題が『青春のバイプライン』で、現に今も青春しています。』

—あの、今分かりました。おじさまは愛の形の理想、叶わぬ夢を語っていらっしやるのね。ご説尊重しますが、最後に一つ大事なことを申しあげておきます。私ね……自分好みのタイプで、仕事もできて優しく性格もいい、そして信念もお金もある人、オジサマには悪いけど、そういう人で私が生涯で一番好きで相思相愛の男の人、ちゃんといるんです。

「あ、そうですか……(儀礼的に冷たく)それは大変貴重で珍しくお幸せなことで……。人生の早い時期にそういう理想的

な人に出会えて良かったですね、ご同慶の至りです。それでは、何か御縁がありましたら、またの機会に是非とも……(苦虫の顔)。」

\*\*\*\*\*  
なんだよ！ ……ということは、最初から議論にもなつてなかったし、脈もなかったというんじゃないか。デグシヨウ！ もう少しだと思つたのにイ。独り相撲だったか。

ちよつと挑発、刺激をし過ぎたかなあ。  
……ま、いっか、オラ方の映画手帳を見たいとか、話も面白そうだとか言つたのも外交辞令だろうし、脈はなし……仕方ないな、ハッ、きっぱりとアキラメ(られればな)。

さ、あ、て、どうしようかつ……滝クリにもウッチーにも振られて……。ん？ どっちが本命かつて？ それはC Aタイプ且女子アナタイプ……やっぱり両方。でもさつきは危うく全部見破られてしまった気がするけど、僕は本気、真剣、覚悟して好きな本命が実はいるんだよね。しかしこれが全く進展できず、入口で見事にシャットアウトをくらひ、城壁の外で路頭に迷う日々が、ここ何年も続いている。彼女は男をタイプや感性等で決める人だろうし、結局僕は彼女好みのタイプでもなく、条件も未達ということなんでしょ……これも神様のご意思、と思うしかなかな。悔意無念、我知限界。

「事実は小説よりも奇なり」  
~~~~~  
さてと、これで終わってしまうのもなんだかなあという感じだし、……もう一

人だけチャレンジしてみようか……というところで、皆様、もう1本、あと1回だけ映画の話にお付き合い頂きたくお願い致します。

次回、来年はまたまた古い映画の話で恐縮ですが、これも名作「ベン・ハー」です。(キリがないので映画の話はそれで終り。ん？ 何？ 映画の話でなく、恋愛談義に変わっている?) 長くなつてすみません。以上

## 修学旅行生との 交流会に参加して

高51 大曲由起子

現役伝習生と卒業生との「交流会」という会の意味を、8回目の参加にして初めて学んだような気がする。そんな今年の交流会だった。

交流会でテーマとなった質問の中には、大人にも共通する深い質問も多かった。例えば、「やりたくない、嫌いなことにはどのような姿勢で取り組めば良いのか」「公共のために働きたいと思うが、偽善的にならないか悩むことがある」「親への接し方は」「挫折、喪失感を味わうことがあるが、先輩方はどうか」などだ。

また、コミュニケーションや人間関係に関する質問も多かった。「人脈を張り巡らせるにはどうすれば良いか」「リーダーシップのコツは何か」「年上の人とのうまい接し方はあるのか」などだ。卒業生が「低姿勢で、分らないことを教えてもらう態度で接すると年上の人も気持ちよく接してくれる」と答えると、それに対して、「自分は年上の人にもズバズバと意見を言ってしまうがどうか」という疑問も他の現役生から投げかけられた。このように、「対話」が成り立ち、質問と回答の応酬がなされたことは、これまでの交流会ではあまりなく、現役生の積極性に感心した。

そしていつもながら、同じ卒業生側にいる大先輩や後輩の回答にも学ぶものが多かった。「失敗」がテーマになった時、先輩から「成功しても学ぶことはない。失敗してこそ成長する。失敗をしないように生きること自体が失敗だ」という答えがあり、「嫌いなことに取り組むには」がテーマになった時には、「好きなことをするのはではなく、していることを好きになれば良い」という答えがあった。これら長い人生経験を経ての先輩卒業生の簡潔な答えに、現役生と一緒に頷いて懸命にメモをとっている自分がいた。また、自身の実体験を元に率直に、素直に伝えようとすると卒業生もいた。「自分も人前に出て話すのは大の苦手。だからあえて接客業のバイトを始めた」と、「人前で話すときも緊張してしまう。どうすればなおるのか」と小さな震えるような声でなされた現役生からの問いかけに

答えた。自身の弱点をあえてさらし、そこから学んでもらおうとする卒業生の姿勢に、現役生は心を打たれただろう。

私自身が心を打たれた質問は最後に来た。「自分は運動部で、レギュラーじゃなかった。でも3年生が引退して、2年生でキャプテン・副キャプテンを決める時、正直、『自分でもやれるんじゃないか』と思った。実際に話し合いが始まると、自分が選ばれることはなく、自分のことを良く思っていない人がいる、と思った。それだけではなく、結果的には自分があまり好きではない人が選ばれた。これから部内で、リーダーとなった苦手な人にどのように接していけば良いのか」。あまりに純粹で、真剣な現役生の姿勢と真つ直ぐな視線に、卒業生はみんな黙り込んでしまい、沈黙が続いた。すぐに答えが出てこなかった。自分も、この質問に答えるためにどうすれば良いのか、悩みに悩んだ。120%エネルギーを卒業生に出し切った現役生の姿勢に感動し、涙腺も弛んでしまった。

年々参加する回数だけは増えるわけだが、その度に、この交流会は「相互に刺激し合っている先輩と後輩」がいると感じる。私は現役生からの問いかけにハッと、学び、自分がそれに応えようとする

プロセスで、また自分を見つめ直し、自分が成長していくように感じる。現役生からの質問に真摯に向き合う卒業生の姿にも、こちらが学ぶ。今では自分より年下の卒業生も多いが、彼女／彼らに刺激を受けることも多い。

世代間の対話の場であるこの会が、上も下も、先も後も超えた、個人と個人が「交流する」場として、この先も続いてほしいと願う。



交流会参加の皆さんと(筆者左)

## 学年だより

### 第五回卒 東京同期会 「二九の会」報告

代表世話人 下河秀行

去る十月十九日東京・九段の「グランドパレス」で、伝習館第五回卒 東京同期会「二九の会」を行いました。

今年は、傘寿(八十歳)と、東京同期会第三十五回の節目の年の同期会でした。

第一部は、全員による懇親会で一年ぶりの旧交を温め、お互いに近況報告を致しました。

そして、第二部は、「ジャズボーカリストの山岡未樹と、ピアノ小林裕のデュ



オンラインコンサート」を楽しみました。  
ジャズは、ベニーグッドマンや、グレ  
ンミラー楽団等私たちが青春真っ盛りの  
時代に大流行し、ジャズ音楽を謳歌した  
ものです。最後は、お互いの健康を祈念  
しながら来年の再会を誓って散会しまし  
た。

**高十二回 くっぞご会**  
高12 小野アケミ

平成二十七年十月二十五日(日)  
東京赤坂山王健保会館(木都里亭)に  
て開催

出席者三十二名(九州柳川より四名、  
関西二名、三重一名)

世話人代表野上さんの開会の挨拶に始  
まり尾田さんの乾杯に続き、三十二名近  
況報告。伝習館同窓会関西支部長に就任  
された甲木宏明さんが単身赴任の折り同  
期の皆さんと交流があり、ハイキングや  
登山が出来た事、くっぞご会があつて良  
かつたとお礼の言葉がありました。

「くっぞご会」の由来は、昭和五十六年  
八月二十二日渋谷道玄坂上の小料理屋に  
男性のみ七、八名が集まり「この鯛はう  
まかね!」「いいやくっぞごの方がもつ  
とうまか!」で第一回くっぞご会の名称  
がつき今回で三十二回目になります(途  
中二年に一回がありました)。尾田さ  
んいわく「よく続いているよなあ!!」

現在の世話人代表野上さんはじめ今ま  
でお世話して下さった方達の(橋本寛治  
さん、北村さん、井上さん)努力と皆さ  
んの協力があつたからと感謝して居りま  
す。  
二次会はカラオケ館へ(二次会行きま  
す? 歌わせてくれるなら行くよ! 歌  
わなくて良いなら行くよ!) 参加者二十  
八名、盛り上がりました。次回も健康に

気をつけてお逢い出来ます様に。

**出席者 三十二名**  
写真(二列目右より)  
石塚武美・田嶋幸江・古賀昭子(九州柳  
川より)・木下裕正(三重)・野上一治・  
田名部かほる(九州瀬高)・甲木宏明(関  
西大阪)・板橋美智子(九州瀬高)・中田  
泰之(九州福岡)



第32回「くっぞご会」 2015. 10. 25 東京港区赤坂 山王健保会館[木都里亭]

(二列目)  
橋本昌一・馬場康子・  
梅崎紀子・白尾邦久・  
中島義枝・横山正和・  
原田健治郎・椛島紘  
志・江口清次・春口明  
美・池末博之・村上国  
子  
(三列目)中島憲三(神  
戸)・古賀懿徳・小畑  
タエ子・小野アケミ・  
広松勝彦・辻野史郎・  
滝口晴夫・尾田常昭・  
野片義人・田中省三・  
野田幸治

**第十四回生 古稀同期会**

お世話係 佐々木 優

「伝へて習ふ古の」と「白雲なびく雲  
仙の」が流れる御花の会場に九州以外  
から28名を含む114名の同期生が集ま  
り、古稀のお祝いを兼ねた同期会を開催  
しました。

同期会に初めて出席した同期生が16名  
もいて、卒業以来52年ぶりの再会を喜び  
そして感動したひとときでした。

同期会の始まる前に日吉神社で古稀の  
お祓いを受けて、日吉神社からどんこ舟  
に乗って御花へ行くコースには、60名の  
出席があり大変喜ばれました。

当日は、卒業アルバム顔写真を貼り  
付けた出席者名簿と返信ハガキに記載さ  
れた近況等を取りまとめたものを作成し  
出席者に配付しました。

出席者名簿に貼り付けた卒業アルバムの  
写真は、18歳頃の写真であり70歳の現  
在とは大変かけ離れたものとなっており  
ますが、この写真を見ながら当時を思い  
出し、先生から叱られたことやクラブ活  
動、体育祭、修学旅行、等の伝習館時代  
の昔話しに花を咲かせたところです。

また、仕事のことや体調、趣味、孫、  
介護、等を書かれた近況を懇親会前の短  
い時間の中で、熱心に読まれていた皆さ  
んの姿が印象的でした。

最後は、佐田悦望君の古稀のお祝いエ  
ールと全員で準校歌を合唱するととも



平成26年11月16日(日) 於 御花

に、伝習館同窓会高田支部長の近藤新一君の万歳三唱でお開きとしました。

話しは尽きず名残は惜しいものの、あつという間の2時間半でした。

今回は、2年〜3年後に開催することを約束し、元気で再会できるよう健康管理を十分に行うことを誓い合いました。

### 同期会お世話係

- 梶島 昭治
- 古賀 国男
- 佐々木 優
- 佐々木 美智子
- 富田 恵子

## 高校20回生同期会 なんしよる会

高20 白谷政則

五月二十三日(土曜) 開催

敬称略

一次会 13:00

神谷町 ダイニングバー侍

井口ちづ子 及川ちづ子 岡賢二 鴨

田秀子 海東信子 児玉あけみ 白谷政

則 松下久美子 8名

都心の静かな駅ビルにあるイタリア

ン、早速ビールとワインで乾杯し皆さん

近況報告。六十も半ばになると法事や親

の介護、体の不調等で参加者が少なくな

ったが、集まった人たちは体を動かしたり

(気功? 太極拳?) 外国語(英語以外

の)を勉強する等、身も心も元気です。

ほろ酔いの一寸手前で一次会は終了しす

ぐそばの愛宕神社へ。愛宕山は標高25・

7mで23区内の自然の山では最高峰で、

神社の境内には三等三角点の標識もあり

ます。皆さん元気なので歩いて登るかと

思いきや全員エレベーターを利用、文明

の利器にはかないません。近くのNHK

放送博物館を見学するつもりだったがリ

ニューアルの為一年間休館。二次会まで

時間があるので有楽町まで歩くことにし

ました。こんどは皆さん元気でビル街を

2〜3キロ歩き通しました。途中、日比

谷公園で一休みしようとしたが家族連れ

やカップルで休むベンチも無い。『彼氏

やご主人と日比谷公園に来たことある

人?』と聞いたが全員無言。『今度はず

ひお二人で来てください』などバカ話をしながら一時間で二次会の会場に到着。

二次会 17:00 有楽町 大庄水産

石橋康治 古賀輝博 近藤敬介 塩田

佳世 田淵正

全員揃ったところで再び乾杯と全員か

ら一言。一次会からの引き続き組は昼間

のアルコールはどこへいったの? とい

うくらい元気もあり、二次会からの合

流組も負けずに飲むは食べるは喋るほと

時間とともに個室の中は柳川弁オンリ

ー。人数は少なくともやっぱりなんしよ

る会は楽しかあー、魚河岸料理と郷里を

堪能した三時間でした(もちろんお酒も

たっぷりいただきました)。

三次会 21:00 銀座 ○○クラブ

名前は伏しますが8名(内5名は一次

から)参加、飲み足りない人はお酒を、

酔い覚ましの方はコーヒーやジュースを

静かな雰囲気味わい、今日一日を振り

返る。昼から十時間近く過ごす若頃

に戻ったような楽しさと懐かしさはやっ

ぱり同期が一番だと思えます。

今回は二〇一七(平成29)年の予定です。

現在は二年に一度土曜日に開いてい

ますが、ほとんどの人がリタイアする数

年後からは毎年平日開催を考えていま

す。同期の皆さんお元気です!

# ふるさと瓦版



サミット最後に、市内合唱団などが白秋の「帰去来」と「この道」を観客と一緒に大合唱

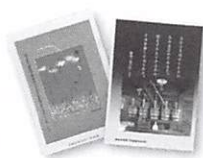
## 北原白秋生誕 130 年記念「白秋サミット」 白秋の偉業を 5 市町が連携し継承を



④ 白秋作詞の校歌を歌う南関町立南関第一小学校の児童 ② 寸劇を披露する市民劇団くもで座 ③ 首長によるパネルディスカッション ④ パネルディスカッションでコーディネーターを務めた佐賀女子短期大学の横尾文子教授

同サミットでは、白秋顕彰の取り組みを、各地域の文化団体などが発表した他、5市町の首長が白秋顕彰と文化芸術を生かした地域づくりについてパネルディスカッション。今後、白秋の偉業を5市町が連携し次世代へ継承していくこと、「共同宣言」を発表しました。会場では市内の合唱団や、南関町の南関第一小学校と白秋の母校矢留小学校の児童なども白秋作詞の歌や校歌を披露し、同サミットを盛り上げました。

詩聖・北原白秋の生誕130年を記念し、白秋にゆかりのある市町が連携し白秋の功績を顕彰する「白秋サミット」が1月25日、水の郷で開かれました。参加したのは、白秋の母方の里である熊本県南関町、「五足の靴」の舞台となった熊本県天草市、白秋の再起の地であり「城ヶ島の雨」で知られる神奈川県三浦市、童謡創作の母胎となった神奈川県小田原市、白秋の故郷である柳川市の全国5市町。



▲北原白秋生家記念財団が生誕130年を記念し作成したクリアファイル。白秋生家で販売中



◀1月24日、白秋生誕130年を記念し、水の郷で開かれた「白秋の郷情小曲の宴」。黒色すみれ（写真）と市民劇団くもで座が、白秋作詞の歌を披露した

▶1月25日、同サミット前に開かれた白秋生誕祭。白秋の母校、矢留小学校の児童らが、白秋生家から白秋詩碑苑までパレードした



# 地域

大木町

地区の行事や公民館活動など地域の話をお寄せください。  
(連絡先) こっぼーっと図書・情報センター ☎32-1047

## 横溝本村で、有志が花壇の手入れ



3月28日、横溝本村にある廣門神社境内で、いきいきサロンのメンバー数人が花壇の手入れをしました。この花壇には、スイセン、チューリップ、パンジーなどが植えられており、例年カラフルな花々が訪れる人の目を楽ませています。

この日は、神社東側の国宮水路岸の草刈りもあわせて行いました。やがて、昨年植えた花菖蒲が芽を出し、紫色の大きな花を咲かせることでしょう。

## 奥牟田西で、堀岸の草刈り



4月17日と19日、奥牟田西で堀岸の草刈りが行われました。これは、多面的機能交付金

の作業で、19日の作業に先立って17日は堀の四隅にある雑草を刈り取り、通行する車両からの見晴らしを良くしようと委員会のメンバーが行いました。同メンバーは数年前から計画づくりに着手し、写真の後方、高良宮周囲の木柵護岸を施工したり、さらにはお宮裏手の堀岸に花菖蒲を植えたりと、昨年度から堀再生の実作業に取り組んでいます。

## 地域の話

### 川まつりを見に行こう！

受け継がれる大木町ならではの風景

上木佐木下鍛冶屋



それぞれ違います。それぞれの違いを発見してみるのがおもしろいかもかもしれません。

「川まつり」は、生活に密着した堀を大事にしてきた先人たちから受け継がれている無形文化財と言えます。自然への感謝と水難事故防止の祈りを込めた願いを地域が伝承している「川まつり」を後世にも受け継いでいきたいものです。



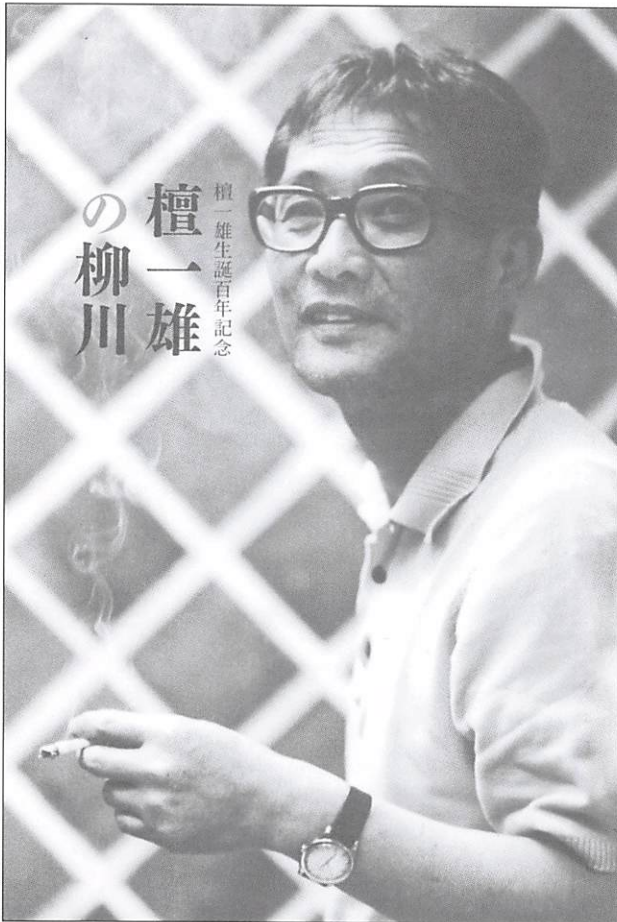
木本神社境内

からの取水が始まる4月に入ると各地区の堀で「川まつり」が見られるようになります。「川まつり」をよく見てみると、形、お供え物や飾り物などそれ



平成18年に堀と自然を守る会が日本財団の助成を受けて調査し作成したマップ

# 書籍紹介



## 檀一雄の柳川

檀一雄生誕百年記念

「檀一雄生誕百年記念誌『檀一雄の柳川』を発刊いたしました。この記念誌を求めたいとご希望される方は下記事務局までご連絡ください。

柳川での直接渡しの方は1,200円（郵送の場合は1,500円）、そして、他へのご紹介のご協力もよろしくお願いいたします。

さらに本顕彰会に御入会いただき、会員としてお力添えをいただければ幸いです。年会費は2,000円です。

◎ 檀一雄文学顕彰会の主な事業：

- ① 花逢忌（福岡市能古島）への参加（毎年5月第3日曜日）
- ② 檀一雄文学顕彰祭 毎年9月23日10時～（秋分の日）文学碑前
- ③ 白秋祭川下り11月1日
- ④ 檀一雄の供養と生誕祭毎年2月第1日曜日10時30分～福厳寺

檀一雄文学顕彰会事務局

〒832-0045 福岡県柳川市本町114-2 古賀和範

TEL・FAX 0944-72-6888

（携帯 TEL：090-4986-9592）

メール kgk1942@docomo.ne.jp

kgk1942@yahoo.co.jp



本書は檀一雄生誕百周年記念誌として檀一雄文学顕彰会から発行された。檀一雄には80編を超す柳川に関する作品があり、その作品から柳川との関わり、檀自身も柳川出身を称した所以を検証する。作品は少年時代を過ごした沖端、白秋との縁、御花の図書館で書かれた処女作、リツ子の死後に太郎と山寺で暮らした頃が今昔の写真を交えながら紹介。帰去来編では「恩師と柳川へ」、「殿さんと檀一雄」などがつづられている。さらには檀一雄作詞、古賀政男作曲の「白秋の生まれた町で」（藤山一郎唄）が幻のレコードとなっている事実も明らかに。「柳川の食と檀一雄」や、ゆかりの地がマップやカラー写真で紹介され、檀一雄を偲びながら歩く柳川のガイド書としても楽しめる一冊。

## ビクトル古賀物語

サムライとコサックから生まれたサンボの王者



11歳のとき満州の曠野1000キロを独りで歩き柳川へ帰還



原 達郎

柳川ふるさと塾

■著者

原 達郎

1943(昭和18)年 柳川市生まれ

柳川観光大使

柳川ふるさと塾 塾長

著書

「柳川ふるさと塾①」 柳川ふるさと塾

「九州文学散歩・柳川」 財界九州社

「柳川文学散歩案内」

「白秋の食卓」 財界九州社

「山頭火と生きる・木村録平十節舎日記抄」

「ラーメンひと図鑑」 弦書房

「九州ラーメン物語」 九州ラーメン研究会

「久留米ラーメン物語」 九州ラーメン研究会

「オノ・ヨーコの華麗な一族」 柳川ふるさと塾

出版

長谷健「からたちの花」(白秋3部作①) 清潮社

長谷健「帰去来」 柳川ふるさと塾

江口章子(北原白秋夫人)詩集「追分の心」

ビクトル古賀物語

2015(平成27)年8月15日 第1刷発行

発行者 柳川ふるさと塾

住所 811-1361 福岡県福岡市南区西長住3-25-15 原方

電話 092-512-2500 携帯 090-8835-5957

印刷 柳イマック印刷 福岡県柳川市弥四郎町238-8

定価1500円+税

## ビクトル古賀物語

柳川出身の偉人たちが続々登場！

◎紹介

\* 伝習館 OB で最初で最後の関取「筑後山」

\* 長い間柳川市長を務められた OB の古賀杉夫氏

\* 副会長原田万紗子氏などが登場します。



## 賛助金のお振込方法

- ① 同封の郵便振替用紙による
- ② 銀行振込による

銀行名 三菱東京UFJ銀行 銀行コード(0005) 支店名 駒込支店 店コード(061)  
 普通預金  
 口座番号 1073673  
 口座名 伝習館東京同窓会

いずれのお振込の場合にも必ず回生又は卒業年度をお書き下さい。



### 伝習館東京同窓会事務局

〒170・0003  
 東京都豊島区駒込3・3・19  
 TEL 03・3915・0865  
 FAX 03・3915・0220

### 広告募集

#### チラシ広告

対象 東京同窓会会員向けに製品・商品・営業内容などをPR、販売したい方。  
 ○チラシ三千部を作成し(フォーム自由)事務局宛送付下さい。  
 会員への会報送付時に同封郵送します。  
 ○広告代金 一件につき弐万円を賛助金として頂きます。  
 会員の皆様からも、希望業者の方をどしどしご紹介下さい。

### 募集中!

1. 表紙絵・表紙用写真
2. 原稿—伝習館OBならダッデンヨカバンモ
- テーマ—自由(同窓会報にふさわしいもの)
- 小説・随筆・詩・短歌・俳句・川柳、絵画・写真・書など
- 字数制限なし(原稿用紙使用、またはワード原稿をメールで送付)
- 写真・絵・カット添付可
- 表題・投稿者氏名・卒業年度・総字数を書いて下さい。
- ※原則10月20日〆切

—原稿送付先—  
 〒153・0051  
 目黒区上目黒3・21・19  
 伝習館東京同窓会 北島 正常 行  
 E-mail: anc54684@nifty.com  
 ・FAX 03・3713・6775  
 090・5532・0323

### 編集後記

○昨年の学年幹事会で会報が出来るだけ早く皆様のお手元に届くように「賛助金の受付メッセ」を11月末に変更」を提案し了承されました。次回は平成27年12月(平成28年11月まで)となります。  
 前号「編集後記」で小生がワンポイントリリーフでお受けしたことを書きましたが、役目が終わりました。皆様、同窓会総会でも、お気付きと思いますが、最近若手の方が多くなりました。そこで「会報」も若い感覚をとり入れ北島編集長を中心に進めて行つて欲しいと思つています。会員の皆様のご投稿よろしくお祈いします。(内山秀生)

○会報の編集に携わるようになって気になるのが、皆さんから原稿が集まるや否やということ。結果、心配無用でした。今回の表紙は同期の池末君が秀逸な絵を、野田さんが懐かしい写真を提供してくれました。また、OBで伝習館高生物教諭の木庭先生より、有明海再生への思いが綴られた稿も寄せられた。カラーで出せなかったのが残念です。大曲さん、秦さん、小畑さんら女性陣の稿もなかなか読ませます。同期会も数多く開かれ、活気があります。次回も皆様の活動ぶりを(絵・写真等も)、会報にお寄せください。(北島正常)

○編集委員は次の通りです。

北島正常(編集長 高21)  
 永倉素子(高10)  
 内山秀生(高10)  
 福山博彰(高18)  
 高巢和登(高20)  
 白谷政則(高21)  
 西原正道(高21)  
 成清良孝(顧問 中56)  
 江崎 正直(高2)  
 副会長 原田(立花)万紗子(高13)  
 副会長 椛島正司(高16)  
 発行責任者 江崎正直

〒156・0052  
 東京都世田谷区経堂3・20・22・616

# 伝習館東京同窓会学年幹事名簿 平成27年12月現在

| 卒業年次      | 氏名        | 卒業年次         | 氏名         | 卒業年次 | 氏名    |
|-----------|-----------|--------------|------------|------|-------|
| 中学第48回    | 宮本弘道      | 同上           | 福山雅文       | 第39回 | 高橋 徹  |
| 中学第53回    | 古賀和典      | 同上           | 山本祥子       | 第40回 | 田中貴士  |
| 中学第54回    | 原 朗       | 同上           | 北野すえ子(潮井川) | 第45回 | 浦 裕美  |
| 同上        | 山崎清勝      | 同上           | 下吹越智佳子     | 第48回 | 山内朋彦  |
| 同上        | 木下憲男      | 第18回(常任学年幹事) | 福山博彰       | 第50回 | 河内慎治  |
| 中学第55回    | 江崎和夫      | 同上           | 十時理展       | 第51回 | 大曲由起子 |
| 同上        | 小泉祐一郎     | 同上           | 満生英二       | 同上   | 西田大樹  |
| 中学第56回    | 鬼丸敏男      | 第19回         | 芹川季代子(立花)  | 同上   | 本村泰輝  |
| 同上        | 成清良孝      | 同上           | 田中茂利       | 第55回 | 武下優子  |
| 高女45      | 石橋佳香      | 第20回(常任学年幹事) | 高巣和登       | 同上   | 松尾晴菜  |
| 高校第1回     | 増尾義勝      | 同上           | 岡 賢二       | 同上   | 龍 幸弘  |
| 第2回       | 石崎知見      | 同上           | 近藤敬介       | 第56回 | 秋山陽佳  |
| 同上(会長)    | 江崎正直      | 第21回(常任学年幹事) | 西原正道       | 第58回 | 市川広大  |
| 同上        | 小野善睦      | 同上(常任学年幹事)   | 白谷政則       | 同上   | 廣松綾香  |
| 第3回       | 酒井清行      | 同上(編集長)      | 北島正常       | 第59回 | 川口 惇  |
| 第4回       | 荒井健之輔     | 第22回         | 北原富美男      | 同上   | 廣松浩司  |
| 同上        | 渡邊喜亮      | 第23回         | 成田八重子      | 同上   | 古賀康之  |
| 第5回       | 岸 栄洋      | 同上           | 樋口貴美子(田上)  | 同上   | 深町日出海 |
| 同上        | 古賀 弘      | 同上           | 高田健二       | 第61回 | 江崎崇浩  |
| 第6回       | 石橋 修      | 第24回         | 酒見和平       | 同上   | 植木 智  |
| 同上        | 戸上軍治      | 第26回         | 藤吉旭水       | 同上   | 国武美彩衣 |
| 同上        | 高木 健      | 第27回         | 高橋圭介       | 同上   | 亀崎泰広  |
| 第7回       | 龍 弘道      | 同上           | 松藤峯成       | 同上   | 鳥添賢一  |
| 同上        | 永江嵩子(測上)  | 第28回         | 吉開孝人       | 同上   | 関 翔子  |
| 第9回       | 原田光紀      | 第29回         | 斉藤慎吾       | 同上   | 北島郁巳  |
| 第10回(編集員) | 内山秀生      | 第30回         | 橋爪政男       | 同上   | 田中祥子  |
| 同上        | 永倉素子(跡部)  | 同上           | 小野弘美(中山)   | 同上   | 高口裕貴  |
| 第11回      | 永尾弘行      | 第31回         | 池末利活       | 第62回 | 亀崎元貴  |
| 第12回      | 小野アケミ(岸川) | 同上           | 永田日出樹      | 同上   | 古賀康孝  |
| 第13回      | 田中利道      | 第32回         | 富重由佳       | 同上   | 中村知永  |
| 同上        | 尾田義昭      | 同上           | 森永 明       | 同上   | 本園雄也  |
| 同上(副会長)   | 原田万紗子(立花) | 第35回         | 田中鉄郎       | 第63回 | 野中 優  |
| 第14回      | 石橋俊一      | 同上           | 橋本知彦       | 同上   | 杉 なつみ |
| 同上        | 高木節子(堤)   | 第36回         | 松藤 亘       | 第64回 | 生田正史  |
| 第16回(副会長) | 梶島正司      | 第37回         | 江口一元       | 第65回 | 安永 新  |
| 同上        | 水澤昭子(田中)  | 同上           | 石橋泰光       | 第66回 | 梅崎香菜恵 |
| 第17回      | 北島文之      | 同上           | 志牟田美佐      | 第68回 | 樋口由香里 |
| 同上        | 宇木博巳      | 同上           | 桑山 薫       |      |       |
| 同上        | 浦川邦憲      | 第38回         | 金子千恵美      |      |       |

幹事未選出の学年は至急選出して事務局までご連絡下さい。

## 伝習館東京同窓会会則

平成14年7月21日

- 一 (名称) 本会は伝習館東京同窓会と言います。
- 二 (目的) 本会は会員相互の親睦と融和を図ると共に母校の発展に資することを目的とします。
- 三 (事務局) 本会の事務局は次の場所に置きます。  
〒170-0003 東京都豊島区駒込三丁目3番9号  
千鳥屋 内 伝習館東京同窓会 事務局
- 四 (事業) 本会はその目的を達するため以下の事業を行います。  
1 総会の開催  
2 同窓会誌の発行  
3 母校事業の後援等  
4 その他本会の目的達成に適切な事業
- 五 (会員) 本会は福岡県立伝習館高等学校、中学伝習館、柳河高等女学校、高等学校伝習館(含む併置中学校)、柳河女子高等学校(含む併置中学校)卒業生並びに一時在籍した者を以て会員とします。
- 六 (会計) 本会の会計は会員の会費、寄附金品等を以て運営し、毎年1回、幹事会においてその収支を監査します。
- 七 (役員) 本会には以下の役員を置きます。  
1 会長 1名 2 副会長 2名以内  
3 事務局長 1名 4 幹事 若干名  
5 会計 2名
- 八 (役員選任等) 会長は幹事会の推薦により総会で決定し、副会長並びに事務局長及び会計は幹事会で、幹事は各卒業年度の会員の互選により2名以内を各選任します。
- 九 (役員任期) 役員任期は4年として、その再任を妨げません。
- 十 (総会) 総会は2年に1回開催します。会長は総会において会計を報告します。
- 十一 (付則) 本会則は総会の決議により改定出来るものとし、本会に必要な細則は幹事会で別途定めます。



「映」

高21 池末 満

独立美術協会会員。2015年、独立展の出展作。



駅舎西口正面



駅舎西口の二階から

### 柳川駅初のエスカレーターお目見え

3月20日、模様替えした西鉄柳川駅が披露された。自由通路を挟んで、東西にある駅前広場を結び、駅舎にはエスカレーター、エレベーターが設けられ、利便性が良くなっている。9月には2015年度グッドデザイン賞を受賞した。

西山彰（高3）先生撮影



「柳川の夏」 野田幸治 (高 12 回)  
夏の思い出としてH 27 年帰郷の折に撮影